

目 次

平成16年度主要記事一覧

展示事業

・ト・コレクション展

企画展

収集事業

・コンサート・美術館講座他

情報資料室・実技講座他

・美術めぐりの旅・活動協力他

調査・収集事業

・収蔵資料

管理運営・運営方針

組織

・平成16年度職員・協議会委員

利用状況

・展示室利用団体

施設

利用料金

平成
16

CHIBA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

千葉県立美術館 年報 NO.31

April 2004–March 2005

ANNUAL BULLETIN OF
CHIBA PREFECTURAL
MUSEUM OF ART

28

32

33

34

35

36

38

43

目 次

あいさつ	1
沿革	2
平成16年度主要記事	4
展示事業	5
アート・コレクション展	6
企画展	18
普及事業	20
コンサート・美術館講座他	21
情報資料室・実技講座他	24
美術めぐりの旅・活動協力他	23
調査・収集事業	27
収蔵資料	28
管理運営・運営方針	32
組織	33
平成16年度職員・協議会委員	34
利用状況	35
展示室利用団体	36
施設	38
利用案内	43

あいさつ

平成16年度の千葉県立美術館における活動の実績を年報としてまとめました。

本館は昭和49年の開館以来、地域美術館及び近代美術館としての活動を通じ、県民のさまざまな美術に対する要望にこたえるよう努めてまいりました。

16年度は企画展として「漁民を描く - 渡辺學の世界」と、県内1ヶ所を会場に「第28回千葉県移動美術館」を開催いたしました。

本館が収蔵する作品の展示については、「房総と近代美術」を中心とし、種々のテーマに基づいた収蔵作品による企画展を開催いたしました。

このほか、美術についての理解を深め、作品鑑賞の一助とするため、展覧会に関連した美術講演会を開催し、さらに、こどもたちに創作の喜びや美術館活動に対する理解を深めてもらうため、「ワークショップ」、「一日学芸員体験学習」、「学校巡回展」を開催いたしました。ま

た、美術の各分野にわたる実技講座を実施し、ますます高まっている県民の美術創作への意欲にこたえてまいりました。

作品収集にあたっては、収集基本方針に基づき、作家や所蔵家の協力を得ながら、コレクションの体系化とその充実化を図りました。今後とも、関係諸機関や各団体をはじめ、県民の皆様方の指導と支援をお願いいたします。

平成17年6月

千葉県立美術館長

■沿革

とその師弟展」を開催

1969年12月9日	第1回千葉県立美術館建設懇談会を開催（委員15名）	1976年6月7日	寄付によって、正面玄関植栽
1970年1月19日	県立美術館建設の請願書が2月県議会で採決	1977年3月12日	彫刻の野外展示開始
1970年7月24日	建設地として千葉公園に内定	1977年4月10日	展示棟の一室に美術普及室を開設
1970年11月12日	第1回美術館設置準備専門委員会を開催（委員10名）	1978年1月18日	外構工事として、駐車場拡張（97台）
1971年3月31日	千葉公園内の美術館基本構想成立	1978年2月21日	美術普及棟の準備会発足
1971年6月24日	体育館移転問題等で千葉公園内建設が不可能となる代案として千葉市中央港埋立地を提示	1978年10月17日	美術普及棟建築予算を計上
1972年1月5日	建設地を千葉市中央港の埋立地に決定し、使用について開発庁長と教育長で覚書を交換	1978年11月18日	浅井忠像完成除幕式
1972年3月31日	基本設計完了（株式会社大高建築設計事務所）	1978年11月30日	美術普及棟実施設計完了
1972年7月31日	展示棟第1期工事の実施設計完了	1979年1月8日	美術普及棟を県民アトリエ棟と改称
1972年9月21日	展示棟杭打工事着工	1979年3月5日	県民アトリエ棟建築工事請負契約議案可決
1972年10月13日	展示棟建築工事請負契約議案可決	1979年3月22日	県民アトリエ棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
1972年12月10日	展示棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）	1980年2月29日	県民アトリエ棟竣工
1973年4月1日	文化課に美術館準備班を置き、開館事務開始	1980年3月16日	県民アトリエ棟完成記念講演会
1973年11月30日	管理棟（第2期工事）の実施設計完了	1980年4月1日	千葉県美術品取得基金条例施行
1974年3月31日	展示棟竣工	1980年9月9日	県民アトリエ棟情報資料室開設
1974年4月1日	千葉県立美術館発足（職員14名）	1983年7月29日	美術普及コーナー開設
1974年10月23日	開館記念式典開催	1983年11月12日	開館10周年と県展開催35周年を記念した記念碑建立
1974年10月24日	開館記念展「千葉県美術展覧会」開催一般公開開始	1986年2月25日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事設計予算化
1975年2月21日	管理棟杭打工事着工	1986年4月10日	入口門扉4ヶ所設置
1975年3月13日	管理棟建築工事請負契約議案可決	1986年4月23日	美術館西側沿道寄り生垣植栽
1975年3月16日	管理棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）	1986年8月12日	講堂浸水防止工事完了
1976年2月20日	管理棟竣工	1987年3月25日	機械室増築基本設計及び展示棟、収蔵庫、機械室増築工事実施設計完了
1976年3月2日	管理棟完成記念特別展「浅井忠	1987年10月15日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
		1988年5月20日	受水槽設備改修工事（地上式）着工
		1988年8月31日	受水槽設備改修工事（地上式）完了
		1988年8月31日	展示棟（第8展示室）、収蔵庫（第3・4室）、機械室増築工事完了

- 1989年2月28日 増築展示棟周辺芝張工事完了
- 1989年4月1日 普及課が新設され、3課で業務実施
- 1989年4月20日 開館15周年記念特別展「房総と近代美術」を開催
- 1989年9月11日 空調機改修工事実施設計完了
- 1990年6月8日 空調機改修工事完了
- 1990年9月29日 収蔵庫（第1・2室）冷凍機改修工事着工
- 1990年11月7日 室内標識改修工事着工
- 1991年1月31日 収蔵庫（第1・2室）冷凍機改修工事完了
- 1991年2月20日 室内標識改修工事完了
- 1991年12月6日 空調用ポンプ改修工事完了
- 1992年4月1日 運営の一部が（財）千葉県社会教育施設管理財団へ委託
- 1992年10月20日 湿度記録装置改修工事完了
- 1992年12月18日 食堂改修工事完了
- 1994年7月23日 開館20周年記念特別展「房総の美術」を開催
- 1998年2月23日 ガス設備改修工事完了
- 1998年12月24日 空調設備補修工事完了
- 1999年6月5日 開館25周年記念特別展「ヒューストン美術館展」を開催
- 2000年3月30日 屋根材剥落補修工事完了
- 2000年3月30日 点字ブロック設置工事完了
- 2000年7月31日 文部省委嘱事業「親しむ博物館づくり事業」受託
- 2001年3月29日 屋根材剥落補修工事（第7展示室）完了
- 2002年3月25日 屋根材剥落補修工事（第6展示室）完了
- 2002年3月25日 非常灯用直流電源装置改修工事完了
- 2002年3月25日 防犯カメラ改修工事完了
- 2002年10月31日 空調設備改修工事基本設計完了
- 2002年12月20日 直流電源装置蓄電池改修工事完了
- 2003年3月25日 空調設備改修工事実施設計完了
- 2003年7月10日 空調設備補修工事完了
- 2004年4月18日 来館者500万人達成
- 2004年11月27日 開館30周年記念企画展「漁民を描く - 渡辺學の世界」開催。

■平成16年度主要記事

- 4月 1日 アート・コレクション「房総と近代美術」①(～10月11日)、「富取風堂展」(～5月30日)、「新収蔵作品展」(～5月9日)
- 4月 14日 美術館講座(～2月16日)
- 4月 18日 第1回鑑賞教室
- 4月 20日 陶芸講座(5月25日まで 日数6日)
- 5月 15日 アート・コレクション「浜口陽三展」(～7月11日)
- 5月 22日 第1回ワークショップ
- 5月 27日 陶芸経験者講座(6月24日まで 日数6日)
- 6月 5日 アート・コレクション「山の空気・海の香り」(～8月22日)
- 6月 15日 第2回ワークショップ
- 7月 3日 銅版画講座(4日まで 日数2日)
- 7月 17日 企画展「こどものための展覧会」(～8月29日)
- 7月 25日 キッズサマーコンサート
- 8月 5日 博物館実習(～8月10日)
- 8月 7日 第3回ワークショップ①
- 8月 11日 教師のためのアートガイダンス
- 8月 20日 高校生のための美術館セミナー
- 8月 21日 第3回ワークショップ②
- 8月 28日 アート・コレクション「秋の彩り」(～10月11日)
第3回ワークショップ③-1
- 8月 29日 第3回ワークショップ③-2
- 9月 4日 アート・コレクション「工芸・技と美」(～10月11日)
- 9月 9日 金工講座(24日まで 日数10日)
- 9月 18日 第2回鑑賞教室
- 9月 25日 美術めぐりの旅
- 10月 9日 第4回ワークショップ
- 11月 23日 企画展「第28回千葉県移動美術館」(佐原市中央公民館～12月5日)
- 11月 27日 企画展「漁民を描く 渡辺學の世界」(～1月23日)
第5回ワークショップ
- 12月 4日 ミュージアムコンサート
- 12月 12日 企画展関連イベント「いいっペ！銚子”まるごと体感”」

- 12月 18日 美術講演会
- 1月 16日 美術館講座による「K・MKS(高校生が見て 感じた 作品)展」(～1月18日)(株)三越千葉店サテライト展示「渡辺學デッサン展」(～24)
- 1月 27日 版画講座(2月12日まで 日数10日)
- 1月 29日 アート・コレクション「房総と近代美術」②(～3月31日)、「書の美」(～3月27日)、「光へのまなざし」(～4月10日)
- 2月 24日 篆刻講座(3月3日まで 日数6日)
- 2月 19日 第3回鑑賞教室

② 貨物名

家畜本日のり成中島良

鶏鳴 雪林扶正 1

糸姫 大川丸食販 2

菊池門山 墓地強勢 6

鳥 鶴生園 ト

□ 展示事業 □

民省風雲録

鷹の達

番組

香草原薬業

肉業

鶏生園、育苗

寒暑雨量取締規

飛沫病予防

赤酒

貿易中止

鳥、魚

寒暖機のり成中島良

鶏文野鶏場

糸姫鶏

鶏生園

鶏生園

真衣報書 1

夫婦田中 2

牛田飛 3

鶴見△宮 4

牛玉本山 5

平瀬田鶴 6

牛玉本山 7

牛玉本山 8

牛玉本山 9

牛玉本山 10

牛玉本山 11

牛玉本山 12

牛玉本山 13

牛玉本山 14

牛玉本山 15

牛玉本山 16

牛玉本山 17

牛玉本山 18

牛玉本山 19

牛玉本山 20

牛玉本山 21

牛玉本山 22

牛玉本山 23

牛玉本山 24

牛玉本山 25

牛玉本山 26

牛玉本山 27

牛玉本山 28

牛玉本山 29

牛玉本山 30

牛玉本山 31

牛玉本山 32

牛玉本山 33

牛玉本山 34

牛玉本山 35

牛玉本山 36

牛玉本山 37

① 1番美介武と鶴見

新材日日手取便 1

日日手取便 2

展示場 S・1 萬 3

万葉文化館 Haa 4

萬葉文化館 5

萬葉文化館 6

萬葉文化館 7

萬葉文化館 8

萬葉文化館 9

萬葉文化館 10

萬葉文化館 11

萬葉文化館 12

萬葉文化館 13

萬葉文化館 14

萬葉文化館 15

萬葉文化館 16

萬葉文化館 17

萬葉文化館 18

萬葉文化館 19

萬葉文化館 20

萬葉文化館 21

萬葉文化館 22

萬葉文化館 23

萬葉文化館 24

萬葉文化館 25

萬葉文化館 26

萬葉文化館 27

萬葉文化館 28

萬葉文化館 29

萬葉文化館 30

萬葉文化館 31

萬葉文化館 32

萬葉文化館 33

萬葉文化館 34

萬葉文化館 35

萬葉文化館 36

萬葉文化館 37

萬葉文化館 38

萬葉文化館 39

萬葉文化館 40

萬葉文化館 41

萬葉文化館 42

萬葉文化館 43

「房総と近代美術」①-1

会期 平成16年4月1日(木)
 ～平成16年6月13日(日)
 会場 第1・2展示室
 開催日数 66日
 展示点数 69点

浅井忠と日本洋画・フォンタネージとバルビゾン派

- 1 浅井忠 薦屋根 1887頃
- 2 浅井忠 小丹波村 1893
- 3 浅井忠 漁婦 1897
- 4 浅井忠 フォンテンブローの夕景 1901
- 5 浅井忠 老母像 1906
- 6 松岡寿 森と小川 1895
- 7 和田英作 塚本靖肖像 1901
- 8 鹿子木孟郎 風景
- 9 都鳥英喜 海浜風景 1909
- 10 石井柏亭 聖フランチエスコ寺院 1923
- 11 安井曾太郎 熱海附近 1929
- 12 梅原龍三郎 純子像 1937
- 13 フォンタネージ 十月、牧場の夕べ 1860
- 14 フォンタネージ 木立 1870～1872
- 15 フォンタネージ 池と樹木 1870～72頃
- 16 ミレー 垣根に沿って草を食む羊 1860頃
- 17 ドービニー オワーズ川のほとり 1865
- 18 ルソー バルビゾンの農場 1850～55頃

房総ゆかりの洋画家

- 1 岸田劉生 霧れたる冬之日 1917
- 2 椿貞雄 牡丹 1920
- 3 椿貞雄 黒壺に椿一輪 1948
- 4 堀江正章 耕地整理図 1901～02頃
- 5 大野隆徳 公園 1912
- 6 菅谷元三郎 母の像
- 7 柳敬助 婦人像
- 8 小堀進 南欧の丘 1962
- 9 櫻田精一 白い舟 1985
- 10 笹岡了一 天使とヤコブの闘い 1975
- 11 原勝郎 モンマルトル 1935

描かれた房総

- 1 ビゴー 稲毛村のわがアトリエ 1892～97頃
- 2 林倭衛 太海
- 3 中西利雄 外房風景 1936

4 服部正一郎 海鹿島山

1957

房総ゆかりの日本画家

- 1 石井林響 漁樵 1913頃
- 2 加倉井和夫 穀機 1967
- 3 後藤純男 山門雨後 1974
- 4 関主税 晨 1984

房総ゆかりの工芸家

- 1 香取秀真 烏銅鳳凰香炉 1911
- 2 津田信夫 一點玲瓈 1934
- 3 信田洋 透壺 1968
- 4 宮之原謙 盛上磁葡萄唐草壺 1943
- 5 山本正年 黎明 1953
- 6 藤田喬平 飾筥・しだれ櫻 1985

房総ゆかりの書家

- 1 浅見喜舟 崔子玉座右銘 1967
- 2 高澤南総 龍虎 1988
- 3 鈴木方鶴 壺中日月長 1984
- 4 中村象閑 万葉二首 1994

房総ゆかりの彫刻家

- 1 小倉惣次郎 伊藤博文像 1903～04頃
- 2 高村光太郎 裸婦座像 1916頃
- 3 高村光太郎 手 1918
- 4 藤野天光 希望

③房総と近代美術①-2

会期 平成 16 年 6 月 15 日(火)
～8 月 8 日(日)

会場 第 1・2 展示室

開催日数 60 日

展示点数 50 点

浅井忠と日本洋画・ファンタネージとバルビゾン派

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| 1 浅井忠 | 藁屋根 | 1887 頃 |
| 2 浅井忠 | 小丹波村 | 1893 |
| 3 浅井忠 | 漁婦 | 1897 |
| 4 浅井忠 | ファンタネージの夕景 | 1901 |
| 5 浅井忠 | 農婦 | 1902 |
| 6 松岡寿 | 森と小川 | 1895 |
| 7 和田英作 | 塚本靖肖像 | 1901 |
| 8 鹿子木孟郎 | 風景 | |
| 9 都鳥英喜 | 海浜風景 | 1909 |
| 10 石井柏亭 | 信州風景 | 1948 |
| 11 安井曾太郎 | 熱海附近 | 1929 |
| 12 梅原龍三郎 | 竹窓読書図 | 1937 |
| 13 フォンタネージ | 十月、牧場の夕べ | 1860 |
| 14 フォンタネージ | 木立 | 1870～72 |
| 15 フォンタネージ | 池と樹木 | 1870～72 頃 |
| 16 フォンタネージ | 森の空地の農婦 | 1865 頃 |
| 17 ミレー | 垣根に沿って草を食む羊 | 1860 頃 |
| 18 トロワイヨン | 河辺の道 | 1860～65 |
| 19 コロー | ナポリ近郊の思い出 | 1860～65 |

房総ゆかりの洋画家

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1 岸田劉生 | 霧れたる冬之日 | 1917 |
| 2 椿貞雄 | 鴨図 | 1955 頃 |
| 3 堀江正章 | 耕地整理図 | 1901～02 頃 |
| 4 板倉鼎 | 金魚 | 1928 |
| 5 菅谷元三郎 | 母の像 | |
| 6 柳敬助 | 婦人像 | |
| 7 小堀進 | 南欧の丘 | 1962 |
| 8 櫻田精一 | 白い舟 | 1985 |
| 9 笹岡了一 | 天使とヤコブの闘い | 1975 |
| 10 原勝郎 | モンマルトル | 1935 |

描かれた房総

- | | | |
|-------|------------|-----------|
| 1 ビゴー | 稻毛村のわがアトリエ | 1892～97 頃 |
|-------|------------|-----------|

- | | | |
|--------|------|------|
| 2 山谷瑛一 | 風 | 1948 |
| 3 三田康 | 廃墟 | 1965 |
| 4 柴田祐作 | 佐原風景 | 1980 |

房総ゆかりの日本画家

- | | | |
|--------|--------|------|
| 1 石井林響 | 梅花書屋 | |
| 2 若木山 | 安房ノ海処女 | 1951 |
| 3 東山魁夷 | 秋深 | 1975 |
| 4 東山魁夷 | 春雪 | 1973 |
| 5 五十嵐幹 | 紅粧 | 1975 |

房総ゆかりの工芸家

- | | | |
|--------|------------|------|
| 1 香取秀真 | 鳥銅鳳凰香炉 | 1911 |
| 2 津田信夫 | 一點玲瓏 | 1934 |
| 3 秋山逸生 | 菱華文象嵌長手箱 | 1946 |
| 4 宮之原謙 | 盛上磁葡萄唐草壺 | 1943 |
| 5 神谷紀雄 | 鉄絵銅彩あやめ紋大鉢 | 1986 |
| 6 藤田喬平 | 飾菖・しだれ櫻 | 1985 |

房総ゆかりの書家

- | | | |
|---------|--------|------|
| 1 小川瓦木 | 侃のイメージ | 1963 |
| 2 小暮青風 | 石見の海 | 1979 |
| 3 高澤南総 | 龍虎 | 1988 |
| 4 鈴木方鶴 | 壺中日月長 | 1984 |
| 5 千代倉桜舟 | デスバレイ詩 | 1972 |

房総ゆかりの彫刻家

- | | | |
|---------|-------|-----------|
| 1 小倉惣次郎 | 伊藤博文像 | 1903～04 頃 |
| 2 高村光太郎 | 裸婦座像 | 1916 頃 |
| 3 高村光太郎 | 手 | 1918 |
| 4 藤野天光 | 希望 | |

房総と近代美術① - 3

会期 平成 16 年 8 月 10 日(火)
～ 10 月 11 日(月)

会場 第 1・2 展示室

開催日数 55 日
展示点数 49 点

浅井忠と日本洋画・ファンタネージとバルビゾン派

- 1 浅井忠 薦屋根 1887 頃
- 2 浅井忠 小丹波村 1893
- 3 浅井忠 漁婦 1897
- 4 浅井忠 フォンテンブルーの夕景 1901
- 5 浅井忠 農婦 1902
- 6 和田英作 塚本靖肖像 1901
- 7 鹿子木孟郎 風景
- 8 石井柏亭 信州風景 1948
- 9 安井曾太郎 熱海附近 1929
- 10 梅原龍三郎 竹窓読書図 1937
- 11 フォンタネージ 牛を追う農婦
- 12 フォンタネージ 河辺の二頭の牛
- 13 フォンタネージ 森の空地の農婦
- 14 ミレー 垣根に沿って草を食む羊 1860 頃
- 15 トロワイヨン 河辺の道 1860～65
- 16 コロー ナポリ近郊の思い出 1860～65

房総ゆかりの洋画家

- 1 岸田劉生 霽れたる冬之日 1917
- 2 椿貞雄 八重子像 1918
- 3 堀江正章 耕地整理図 1901～02 頃
- 4 板倉鼎 金魚 1928
- 5 原勝郎 モンマルトル 1935
- 6 中西利雄 曇り日の離宮と駅 1947
- 7 小堀進 逆光 1974
- 8 原三郎 廃船 1977
- 9 松澤茂雄 海辺の裸婦 1981

描かれた房総

- 1 ビゴー 稲毛村のわがアトリエ 1892～97 頃
- 2 山谷鎌一 風 1948
- 3 三田康 廃墟 1965
- 4 前嶋實 九十九里初夏 1988

房総ゆかりの日本画家

- 1 若木山 安房ノ海処女 1951
- 2 富取風堂 麦秋 1971
- 3 東山魁夷 春雪 1973
- 4 大森運夫 時空往還 1983

房総ゆかりの工芸家

- 1 香取秀真 靈獸文大花瓶
- 2 津田信夫 月下妖麗
- 3 宮之原謙 盛上磁葡萄唐草壺 1943
- 4 信田洋 金冠銅瓶 1980
- 5 藤田喬平 飾簪・しだれ櫻 1985
- 6 神谷紀雄 鉄絵銅彩葡萄紋大鉢 1987

房総ゆかりの書家

- 1 小暮青風 石見の海 1979
- 2 高橋蒼峰 鳴瑟 1982
- 3 浅見錦龍 良寛の詩 1968
- 4 千代倉桜舟 デスバレイ詩 1972

房総ゆかりの彫刻家

- 1 高村光太郎 裸婦座像 1916 頃
- 2 高村光太郎 手 1918
- 3 藤野天光 希望
- 4 鈴木章 七面鳥 1932

③房総と近代美術②-1

会期 平成17年1月29日(土)
～3月6日(日)

会場 第1・2展示室

開催日数 32日

展示点数 39点

房総ゆかりの日本画家

- | | | |
|---------|---------|------|
| 1 西村昭二郎 | 新雪 | 1984 |
| 2 松尾敏男 | 歴程 | 1984 |
| 3 時田直善 | 憩い/鶴その六 | 1987 |
| 4 東山魁夷 | 春雪 | 1973 |

房総ゆかりの工芸家

- | | | |
|--------|--------|------|
| 1 津田信夫 | 鷺 | 1939 |
| 2 香取正彦 | 朧銀玉錯花瓶 | 1979 |
| 3 宮之原謙 | 彩盛百合文壺 | 1974 |
| 4 岩田久利 | 花器 | 1976 |

房総ゆかりの彫刻家

- | | | |
|---------|---------|------|
| 1 高村光太郎 | 手 | 1918 |
| 2 新海竹太郎 | 老馬 | 1921 |
| 3 鈴木徹 | さくら貝 | 1978 |
| 4 山本正道 | エトルリアの壺 | 1985 |

房総ゆかりの洋画家

- | | | |
|---------|--------------|----------|
| 1 ビゴー | 漁師と舟 | 1892～97頃 |
| 2 コラン | 田園詩 | 1903 |
| 3 和田英作 | 塚本靖肖像 | 1901 |
| 4 ローランス | カルカッソの幽閉者の解放 | |
| 5 鹿子木孟郎 | 裸女と野花 | |
| 6 石井柏亭 | 冬の朝 | 1909 |
| 7 梅原龍三郎 | 純子像 | 1968 |
| 8 岸田劉生 | 霽れたる冬之日 | 1917 |
| 9 板倉鼎 | 裸婦 | 1929 |
| 10 西嶋俊親 | 運河清閑 | 1991 |
| 11 齊藤寅彦 | 時の跡 | 1983 |

浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派

- | | | |
|-------|-------------|-------|
| 1 浅井忠 | 藁屋根 | 1887頃 |
| 2 浅井忠 | 漁婦 | 1897 |
| 3 浅井忠 | 小丹波村 | 1893 |
| 4 浅井忠 | フォンテンブローの夕景 | 1901 |

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 5 浅井忠 | 農婦 | 1902 |
| 6 フォンタネージ | 十月、牧場の夕べ | 1860 |
| 7 フォンタネージ | 池と樹木 | 1870～72 |
| 8 ラヴィエ | モレスティルの谷 | |
| 9 コロー | フォンテンブローの風景 | 1830～35頃 |
| 10 ミレー | 垣根に沿って草を食む羊 | 1860頃 |
| 11 クールベ | 嵐 | 1865頃 |
| 12 クールベ | 雪の中の小鹿 | 1869頃 |
| 13 ルソー | バルビゾンの農場 | 1850～55頃 |
| 14 ドービニー | オワーズ川のほとり | 1865 |
| 15 ディアズ | 森の中の農婦 | 1868 |
| 16 デュプレ | 森のはずれ | 1860年代 |

房総と近代美術② - 2

会期 0781 平成 17 年 3 月 8 日 (水)
 ～4 月 10 日 (日)

会場 第 1・2 展示室

開催日数 21 日間

展示点数 38 点

房総ゆかりの日本画家

- 1 鈴木鶴湖 蜀桟道図 1977
- 2 高畠郁子 メティーヌの女たち 1987
- 3 時田直善 憇い／鶴その六 1987
- 4 東山魁夷 春雪 1973

- 5 浅井忠 農婦 1902
- 6 フォンタネージ 十月、牧場の夕べ 1860
- 7 フォンタネージ 池と樹木 1870～72
- 8 コロー フォンテンブローの風景 1830～35頃
- 9 ミレー 垣根に沿って草を食む羊 1860頃
- 10 クールベ 巖 1865頃
- 11 ラヴィエ モレスティの谷
- 12 ルソー バルビゾンの農場 1850～55頃
- 13 ドービニー オワーズ川のほとり 1865
- 14 ディアズ 森の中の農婦 1868
- 15 デュプレ 森のはずれ 1860年代

房総ゆかりの工芸家

- 1 津田信夫 凤翔薰炉 1937
- 2 増村益城 乾漆波文溜塗盛器 1965
- 3 土肥刀泉 製彩両耳花瓶
- 4 藤田喬平 飾簪・しだれ桜 1985

房総ゆかりの彫刻家

- 1 高村光太郎 手 1918
- 2 新海竹太郎 老馬 1921
- 3 山崎猛 木馬の詩 1984
- 4 山本正道 エトルリアの壺 1985

房総ゆかりの洋画家

- 1 ビゴー 稲毛村のわがアトリエ 1892～97頃
- 2 コラン 田園詩 1903
- 3 和田英作 塚本靖肖像 1901
- 4 ローランス カルカッソの幽閉者の解放
- 5 鹿子木孟郎 裸女と野花
- 6 石井柏亭 冬の朝 1909
- 7 梅原龍三郎 伊豆大仁風景 1929
- 8 岸田劉生 霧れたる冬之日 1917
- 9 時田幸彦 ピサの斜塔 1977
- 10 松本秋美 aspettare 1983
- 11 王軍 蘇州水郷 1992

浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派

- 1 浅井忠 薦屋根 1887頃
- 2 浅井忠 漁婦 1897
- 3 浅井忠 小丹波村 1893
- 4 浅井忠 フォンテンブローの夕景 1901

- 5 浅井忠 農婦 1902
- 6 フォンタネージ 十月、牧場の夕べ 1860
- 7 フォンタネージ 池と樹木 1870～72
- 8 コロー フォンテンブローの風景 1830～35頃
- 9 ミレー 垣根に沿って草を食む羊 1860頃
- 10 クールベ 巖 1865頃
- 11 ラヴィエ モレスティの谷
- 12 ルソー バルビゾンの農場 1850～55頃
- 13 ドービニー オワーズ川のほとり 1865
- 14 ディアズ 森の中の農婦 1868
- 15 デュプレ 森のはずれ 1860年代

日本画・身近な風物を謳う 富取風堂展

会期 (日) 平成 16 年 4 月 1 日 (木) ~ 5 月 30 日 (日)
会場 第 8 展示室
開催日数 53 日
展示点数 30 点

新收藏作品展

会期	平成 16 年 4 月 1 日(木) ～平成 16 年 5 月 9 日(日)
会場	第 3 展示室
開催日数	35 日
展示点数	34 点

日本画

- | | | | |
|----|------|---------|------|
| 1 | 富取風堂 | 游鯉 (其一) | 1928 |
| 2 | 富取風堂 | 游鯉 (其二) | 1928 |
| 3 | 富取風堂 | 朝光 | 1931 |
| 4 | 富取風堂 | 葛西風景 | 1937 |
| 5 | 富取風堂 | 漁村の初夏 | 1942 |
| 6 | 富取風堂 | 秋の草 | 1943 |
| 7 | 富取風堂 | 村莊晚春 | 1947 |
| 8 | 富取風堂 | 仔馬 | 1949 |
| 9 | 富取風堂 | 漁港の朝 | 1950 |
| 10 | 富取風堂 | 漁港の夕 | 1950 |
| 11 | 富取風堂 | 夕顔 | 1951 |
| 12 | 富取風堂 | 洋蘭 | 1952 |
| 13 | 富取風堂 | 花 | 1953 |
| 14 | 富取風堂 | 花籠 | 1954 |
| 15 | 富取風堂 | 残照 | 1954 |
| 16 | 富取風堂 | 初秋 | 1955 |
| 17 | 富取風堂 | 魚と果 | 1956 |
| 18 | 富取風堂 | 花 | 1957 |
| 19 | 富取風堂 | 蟹 | 1958 |
| 20 | 富取風堂 | 夕 | 1960 |
| 21 | 富取風堂 | 暮色 | 1962 |
| 22 | 富取風堂 | 雨の花 | 1963 |
| 23 | 富取風堂 | 河畔 | 1965 |
| 24 | 富取風堂 | 群魚 | 1967 |
| 25 | 富取風堂 | 麦秋 | 1971 |
| 26 | 富取風堂 | 初夏 | 1972 |
| 27 | 富取風堂 | うすれ陽 | 1975 |
| 28 | 富取風堂 | 柿と軍鶴 | 1976 |
| 29 | 富取風堂 | 海老 | 1978 |
| 30 | 富取風堂 | 朝顔と蜻蛉 | 1980 |

日本画

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| 1 | 田中路人 | 火の馬 | 1967 |
| 2 | 田中路人 | 群 | 1979 |
| 3 | 田中路人 | 時雨 | 1986 |
| 洋画 | | | |
| 1 | 菅谷元三郎 | 裸婦 | 1928頃 |
| 2 | 松村三冬 | コルドバの中庭 | 1968 |
| 3 | 松村三冬 | 佳人 | 1971 |
| 4 | 松村三冬 | 北信濃早春 | 1973 |
| 5 | 松村三冬 | ピランの夏 | 1988 |
| 6 | 山本不二夫 | 美しき佐原河港 | 1940 |
| 彫刻 | | | |
| 1 | 平戸眞 | 脱 | 1982 |
| 工芸 | | | |
| 1 | 猪俣伊治郎 | イカルス | 1979 |
| 2 | 猪俣伊治郎 | 風土記 | 1981 |
| 3 | 猪俣伊治郎 | 風土の形象 その六 | 1984 |
| 4 | 猪俣伊治郎 | 行き交うかたち | 1986 |
| 5 | 猪俣伊治郎 | 風神 | 1991 |
| 6 | 猪俣伊治郎 | 聖家族 | 1995 |
| 7 | 猪俣伊治郎 | 転生－去来 | 1998 |
| 8 | 猪俣伊治郎 | 転生－野火 | 1999 |
| 9 | 猪俣伊治郎 | オトタチバナ | 2001 |
| 10 | 猪俣伊治郎 | わだつみのひめみこ | 2001 |
| 11 | 猪俣伊治郎 | コノハナサクヤ | 2002 |
| 12 | 戸島甲喜 | 母の曲 | 1965 |
| 13 | 戸島甲喜 | 輪（りんご） | 1969 |
| 14 | 戸島甲喜 | カルマのイメージ | 1972 |
| 15 | 戸島甲喜 | 群生の彼方に | 1975 |
| 16 | 戸島甲喜 | 胎河觀想 | 1994 |
| 17 | 中村董一 | 鋳銅花瓶 | 1935頃 |
| 18 | 中村董一 | 鋳銅花瓶 | 1935頃 |

書	年	題名	年
1 海野濤山	韋莊詩	1999	
2 小林湖東	壽無涯		
3 高木東扇	玉裳	1979	
4 高木東扇	旅人	1981	
5 高木東扇	元日の朝	1995	
6 成瀬映山	帰居来辭	2003	

現代版画の巨匠 浜口陽三展（前期）

会期	平成 16 年 5 月 15 日 (土)
	～6 月 13 日 (日)
会場	第 3 展示室
開催日数	26 日
展示点数	34 点

版画	年
1 浜口陽三	レダ
2 浜口陽三	うさぎ
3 浜口陽三	ピーマンのある静物
4 浜口陽三	したびらめ
5 浜口陽三	パリの屋根
6 浜口陽三	緑のぶどう
7 浜口陽三	びんとくるみ
8 浜口陽三	てんとう虫
9 浜口陽三	ポプラ
10 浜口陽三	トリコット
11 浜口陽三	赤いパイプ
12 浜口陽三	テーブル掛けとさくらんぼ
13 浜口陽三	くるみ
14 浜口陽三	26 のさくらんぼ
15 浜口陽三	版画集 (ポルトフォolio)
16 浜口陽三	さくらんぼと青い鉢
17 浜口陽三	8 つのくるみ
18 浜口陽三	二匹の蝶
19 浜口陽三	西瓜
20 浜口陽三	赤い蝶
21 浜口陽三	ビーナのさくらんぼ
22 浜口陽三	ビーナのさくらんぼ (7 枚組)
23 浜口陽三	ビーナのさくらんぼ (15 枚組)
24 浜口陽三	てんとう虫
25 浜口陽三	てんとう虫 (7 枚組)
26 浜口陽三	てんとう虫 (15 枚組)
27 浜口陽三	3 匹の蝶
28 浜口陽三	3 匹の蝶 (7 枚組)
29 浜口陽三	3 匹の蝶 (15 枚組)
30 浜口陽三	野
31 浜口陽三	黄色い編み棒
32 浜口陽三	緑のさくらんぼ
33 浜口陽三	びんとレモンと赤い壁
34 浜口陽三	青いくるみ

現代版画の巨匠 浜口陽三展（後期）

会期 平成 16 年 6 月 15 日 (火) ~ 7 月 11 日 (日)

会場 第 3 展示室

開催日数 24 日

展示点数 32 点

版画

- 1 浜口陽三 草花 1952
- 2 浜口陽三 顔 1954
- 3 浜口陽三 西瓜 1955
- 4 浜口陽三 ざくろ 1957
- 5 浜口陽三 ういきょう 1958
- 6 浜口陽三 魚とさくらんぼ 1958
- 7 浜口陽三 貝 1960
- 8 浜口陽三 白菜 1960
- 9 浜口陽三 赤い鉢と黒いさくらんぼ 1966
- 10 浜口陽三 びんとさくらんぼ 1971
- 11 浜口陽三 赤い鉢 1971
- 12 浜口陽三 ブラジルの太陽 1971
- 13 浜口陽三 てんとう虫 1971
- 14 浜口陽三 190 と 1 匹 1975
- 15 浜口陽三 2 匹のてんとう虫 1975
- 16 浜口陽三 1/4 のレモン 1976
- 17 浜口陽三 貝 1977
- 18 浜口陽三 3 つのポプラ 1980
- 19 浜口陽三 緑の毛糸 1981
- 20 浜口陽三 くるみ 1982
- 21 浜口陽三 青い蝶 1982
- 22 浜口陽三 青い蝶 (7 枚組) 1982
- 23 浜口陽三 青い蝶 (15 枚組) 1982
- 24 浜口陽三 びんとレモン 1983
- 25 浜口陽三 編み棒 1985
- 26 浜口陽三 22 のさくらんぼ 1988
- 27 浜口陽三 マントリック・ミュージック I 1988
- 28 浜口陽三 22 のさくらんぼ (15 枚組) 1988
- 29 浜口陽三 緑のポプラ 1985-89
- 30 浜口陽三 暗い背景のびんと黄色いレモン 1981-89
- 31 浜口陽三 琥珀色のくるみ 1982-89
- 32 浜口陽三 青紫色の蝶 1982-89

山の空気・海の香り

会期 平成 16 年 6 月 5 日 (土) ~ 平成 16 年 8 月 22 日 (日)

会場 第 8 展示室

開催日数 68 日

展示点数 44 点

入場者数 6,473 人

日本画

- 1 酒井亜人 山 1951
- 2 杉原元人 海花 1975
- 3 鶴田熙 夕日 1978
- 4 時田直善 夕風 1954
- 5 若木山 山峡の春 1967

洋画

- 1 浅井忠 房州白浜 1887
- 2 浅井忠 房州白浜村 1887
- 3 浅井忠 房州乙浜村 1888
- 4 浅井忠 千石船 1902-07
- 5 浅井忠 房州白浜 1886
- 6 浅井真 雪の丘 1947
- 7 浅井真 錦繡の山 1945
- 8 浅井真 戸隠秋色 1971
- 9 浅井真 五月の海 1960
- 10 円城寺昇 岩
- 11 大久保作次郎 山へ 1940
- 12 大久保作次郎 ヤッホー 1949
- 13 大久保作次郎 風 1955
- 14 金子周次 犬若浦釣手晩夏
- 15 小堀進 高原 1951
- 16 小堀進 山 1965
- 17 小堀進 川原湯風景 1934
- 18 小堀進 風の日の海辺 1935
- 19 小堀進 太平洋の漁村 1941
- 20 小山周次 甲斐牧丘 1946
- 21 小山周次 銚子犬吠埼 1961
- 22 三田康 冬の犬吠岬
- 23 ピゴー 二人の漁師 1892-97
- 24 白滝幾之助 海 1939
- 25 須田国太郎 風景 (漁船)
- 26 ワーグマン 七里ヶ浜風景
- 27 椿貞雄 岩 1936

28	椿貞雄	鋸山から見た房総半島	1948	こどものための展覧会「ZOO 夢 IN ART」
29	椿貞雄	犬吠埼	1948	
30	鶴田吾郎	朝日連峰	1951-54	会期 (大) 平成 16年7月17日(土) ~8月29日(日)
31	鶴田吾郎	お山の鈴音	1968	会場 第3展示室
32	寺田政明	犬吠灯台の見える外川港	1985	開催日数 38日
33	富田通雄	外房鵜原	1964頃	展示点数 30点
34	中林 傑	山中湖附近		
35	鳩川誠一	かもめ	1942	
36	原勝郎	山	1955	
37	溝口七生	高原の樹々	1975	
38	吉田博	雨後の穂高山	1927頃	
版画				
1	川瀬巴水	房州太海	1925	
洋画				
1	岩崎巴人	闘う牛	1969	
2	島田訥郎	群魚と波動	1975	
3	杉原元人	寂巖	1987	
4	立石春美	狗	1967	
5	椿 貞雄	かれい	1950	
6	時田直善	魚紋	1981	
7	時田直善	憩い/鴎その6	1987	
8	富取風堂	親子猿	1964	
日本画				
1	黒澤一	秋の夜	1981	
2	黒澤一	秋の夜	1981	
3	黒澤一	秋の夜	1981	
4	黒澤一	秋の夜	1981	
5	黒澤一	秋の夜	1981	
6	黒澤一	秋の夜	1981	
7	黒澤一	秋の夜	1981	
8	黒澤一	秋の夜	1981	
9	黒澤一	秋の夜	1981	
10	黒澤一	秋の夜	1981	
11	黒澤一	秋の夜	1981	
12	黒澤一	秋の夜	1981	
13	黒澤一	秋の夜	1981	
14	黒澤一	秋の夜	1981	
15	黒澤一	秋の夜	1981	
16	黒澤一	秋の夜	1981	
17	黒澤一	秋の夜	1981	
18	黒澤一	秋の夜	1981	
19	黒澤一	秋の夜	1981	
20	黒澤一	秋の夜	1981	
21	黒澤一	秋の夜	1981	
22	黒澤一	秋の夜	1981	
23	黒澤一	秋の夜	1981	
24	黒澤一	秋の夜	1981	
25	黒澤一	秋の夜	1981	
26	黒澤一	秋の夜	1981	
27	黒澤一	秋の夜	1981	
28	黒澤一	秋の夜	1981	
29	黒澤一	秋の夜	1981	
30	黒澤一	秋の夜	1981	
31	黒澤一	秋の夜	1981	
32	黒澤一	秋の夜	1981	
33	黒澤一	秋の夜	1981	
34	黒澤一	秋の夜	1981	
35	黒澤一	秋の夜	1981	
36	黒澤一	秋の夜	1981	
37	黒澤一	秋の夜	1981	
38	黒澤一	秋の夜	1981	
39	黒澤一	秋の夜	1981	
40	黒澤一	秋の夜	1981	
41	黒澤一	秋の夜	1981	
42	黒澤一	秋の夜	1981	
43	黒澤一	秋の夜	1981	
44	黒澤一	秋の夜	1981	
45	黒澤一	秋の夜	1981	
46	黒澤一	秋の夜	1981	
47	黒澤一	秋の夜	1981	
48	黒澤一	秋の夜	1981	
49	黒澤一	秋の夜	1981	
50	黒澤一	秋の夜	1981	
51	黒澤一	秋の夜	1981	
52	黒澤一	秋の夜	1981	
53	黒澤一	秋の夜	1981	
54	黒澤一	秋の夜	1981	
55	黒澤一	秋の夜	1981	
56	黒澤一	秋の夜	1981	
57	黒澤一	秋の夜	1981	
58	黒澤一	秋の夜	1981	
59	黒澤一	秋の夜	1981	
60	黒澤一	秋の夜	1981	
61	黒澤一	秋の夜	1981	
62	黒澤一	秋の夜	1981	
63	黒澤一	秋の夜	1981	
64	黒澤一	秋の夜	1981	
65	黒澤一	秋の夜	1981	
66	黒澤一	秋の夜	1981	
67	黒澤一	秋の夜	1981	
68	黒澤一	秋の夜	1981	
69	黒澤一	秋の夜	1981	
70	黒澤一	秋の夜	1981	
71	黒澤一	秋の夜	1981	
72	黒澤一	秋の夜	1981	
73	黒澤一	秋の夜	1981	
74	黒澤一	秋の夜	1981	
75	黒澤一	秋の夜	1981	
76	黒澤一	秋の夜	1981	
77	黒澤一	秋の夜	1981	
78	黒澤一	秋の夜	1981	
79	黒澤一	秋の夜	1981	
80	黒澤一	秋の夜	1981	
81	黒澤一	秋の夜	1981	
82	黒澤一	秋の夜	1981	
83	黒澤一	秋の夜	1981	
84	黒澤一	秋の夜	1981	
85	黒澤一	秋の夜	1981	
86	黒澤一	秋の夜	1981	
87	黒澤一	秋の夜	1981	
88	黒澤一	秋の夜	1981	
89	黒澤一	秋の夜	1981	
90	黒澤一	秋の夜	1981	
91	黒澤一	秋の夜	1981	
92	黒澤一	秋の夜	1981	
93	黒澤一	秋の夜	1981	
94	黒澤一	秋の夜	1981	
95	黒澤一	秋の夜	1981	
96	黒澤一	秋の夜	1981	
97	黒澤一	秋の夜	1981	
98	黒澤一	秋の夜	1981	
99	黒澤一	秋の夜	1981	
100	黒澤一	秋の夜	1981	
101	黒澤一	秋の夜	1981	
102	黒澤一	秋の夜	1981	
103	黒澤一	秋の夜	1981	
104	黒澤一	秋の夜	1981	
105	黒澤一	秋の夜	1981	
106	黒澤一	秋の夜	1981	
107	黒澤一	秋の夜	1981	
108	黒澤一	秋の夜	1981	
109	黒澤一	秋の夜	1981	
110	黒澤一	秋の夜	1981	
111	黒澤一	秋の夜	1981	
112	黒澤一	秋の夜	1981	
113	黒澤一	秋の夜	1981	
114	黒澤一	秋の夜	1981	
115	黒澤一	秋の夜	1981	
116	黒澤一	秋の夜	1981	
117	黒澤一	秋の夜	1981	
118	黒澤一	秋の夜	1981	
119	黒澤一	秋の夜	1981	
120	黒澤一	秋の夜	1981	
121	黒澤一	秋の夜	1981	
122	黒澤一	秋の夜	1981	
123	黒澤一	秋の夜	1981	
124	黒澤一	秋の夜	1981	
125	黒澤一	秋の夜	1981	
126	黒澤一	秋の夜	1981	
127	黒澤一	秋の夜	1981	
128	黒澤一	秋の夜	1981	
129	黒澤一	秋の夜	1981	
130	黒澤一	秋の夜	1981	
131	黒澤一	秋の夜	1981	
132	黒澤一	秋の夜	1981	
133	黒澤一	秋の夜	1981	
134	黒澤一	秋の夜	1981	
135	黒澤一	秋の夜	1981	
136	黒澤一	秋の夜	1981	
137	黒澤一	秋の夜	1981	
138	黒澤一	秋の夜	1981	
139	黒澤一	秋の夜	1981	
140	黒澤一	秋の夜	1981	
141	黒澤一	秋の夜	1981	
142	黒澤一	秋の夜	1981	
143	黒澤一	秋の夜	1981	
144	黒澤一	秋の夜	1981	
145	黒澤一	秋の夜	1981	
146	黒澤一	秋の夜	1981	
147	黒澤一	秋の夜	1981	
148	黒澤一	秋の夜	1981	
149	黒澤一	秋の夜	1981	
150	黒澤一	秋の夜	1981	
151	黒澤一	秋の夜	1981	
152	黒澤一	秋の夜	1981	
153	黒澤一	秋の夜	1981	
154	黒澤一	秋の夜	1981	
155	黒澤一	秋の夜	1981	
156	黒澤一	秋の夜	1981	
157	黒澤一	秋の夜	1981	
158	黒澤一	秋の夜	1981	
159	黒澤一	秋の夜	1981	
160	黒澤一	秋の夜	1981	
161	黒澤一	秋の夜	1981	
162	黒澤一	秋の夜	1981	
163	黒澤一	秋の夜	1981	
164	黒澤一	秋の夜	1981	
165	黒澤一	秋の夜	1981	
166	黒澤一	秋の夜	1981	
167	黒澤一	秋の夜	1981	
168	黒澤一	秋の夜	1981	
169	黒澤一	秋の夜	1981	
170	黒澤一	秋の夜	1981	
171	黒澤一	秋の夜	1981	
172	黒澤一	秋の夜	1981	
173	黒澤一	秋の夜	1981	
174	黒澤一	秋の夜	1981	
175	黒澤一	秋の夜	1981	
176	黒澤一	秋の夜	1981	
177	黒澤一	秋の夜	1981	
178	黒澤一	秋の夜	1981	
179	黒澤一	秋の夜	1981	
180	黒澤一	秋の夜	1981	
181	黒澤一	秋の夜	1981	
182	黒澤一	秋の夜	1981	
183	黒澤一	秋の夜	1981	
184	黒澤一	秋の夜	1981	
185	黒澤一	秋の夜	1981	
186	黒澤一	秋の夜	1981	
187	黒澤一	秋の夜	1981	
188	黒澤一	秋の夜	1981	
189	黒澤一	秋の夜	1981	
190	黒澤一	秋の夜	1981	
191	黒澤一	秋の夜	1981	
192	黒澤一	秋の夜	1981	
193	黒澤一	秋の夜	1981	
194	黒澤一	秋の夜	1981	
195	黒澤一	秋の夜	1981	
196	黒澤一	秋の夜	1981	
197	黒澤一	秋の夜	1981	
198	黒澤一	秋の夜	1981	
199	黒澤一	秋の夜	1981	
200	黒澤一	秋の夜	1981	
201	黒澤一	秋の夜	1981	
202	黒澤一	秋の夜	1981	
203	黒澤一	秋の夜	1981	
204	黒澤一	秋の夜	1981	
205	黒澤一	秋の夜	1981	
206	黒澤一	秋の夜	1981	
207	黒澤一	秋の夜	1981	
208	黒澤一	秋の夜	1981	
209	黒澤一	秋の夜	1981	
210	黒澤一	秋の夜	1981	
211	黒澤一	秋の夜	1981	
212	黒澤一	秋の夜	1981	
213	黒澤一	秋の夜	1981	
214	黒澤一	秋の夜	1981	
215	黒澤一	秋の夜	1981	
216	黒澤一	秋の夜	1981	
217	黒澤一	秋の夜	1981	
218	黒澤一	秋の夜	1981	
219	黒澤一	秋の夜	1981	
220	黒澤一	秋の夜	1981	
221	黒澤一	秋の夜	1981	
222	黒澤一	秋の夜	1981	
223	黒澤一	秋の夜	1981	
224	黒澤一	秋の夜	1981	
225	黒澤一	秋の夜	1981	
226	黒澤一	秋の夜	1981	
227	黒澤一	秋の夜	1981	
228	黒澤一	秋の夜	1981	
229	黒澤一	秋の夜	1981	
230	黒澤一	秋の夜	1981	
231	黒澤一	秋の夜	1981	
232	黒澤一	秋の夜	1981	
233	黒澤一	秋の夜	1981	
234	黒澤一	秋の夜	1981	
235	黒澤一	秋の夜	1981	
236	黒澤一	秋の夜	1981	
237	黒澤一	秋の夜	1981	
238	黒澤一	秋の夜	1981	
239	黒澤一	秋の夜	1981	
240	黒澤一	秋の夜	1981	
241	黒澤一	秋の夜	1981	
242	黒澤一	秋の夜	1981	
243	黒澤一	秋の夜	1981	
244	黒澤一	秋の夜	1981	
245	黒澤一	秋の夜	1981	
246	黒澤一	秋の夜	1981	
247	黒澤一	秋の夜	1981	
248	黒澤一	秋の夜	1981	
249	黒澤一	秋の夜	1981	
250	黒澤一	秋の夜	1981	
251	黒澤一	秋の夜	1981	
252	黒澤一	秋の夜	1981	
253	黒澤一	秋の夜	1981	
254	黒澤一	秋の夜	1981	
255	黒澤一	秋の夜	1981	
256	黒澤一	秋の夜	1981	
257	黒澤一	秋の夜	1981	
258	黒澤一	秋の夜	1981	
259	黒澤一	秋の夜	1981	
260	黒澤一	秋の夜	1981	
261	黒澤一	秋の夜	1981	
262	黒澤一	秋の夜	1981	
263	黒澤一	秋の夜	1981	
264	黒澤一	秋の夜	1981	
265	黒澤一	秋の夜	1981	
266	黒澤			

秋の彩り

会期 (土) 日 平成 16 年 8 月 28 日 (土)
 (日) 日 10 月 1 日 ~ 10 月 11 日 (月)
 会場 第 8 展示室
 開催日数 39 日
 展示点数 28 点

日本画

1 大岩成徳	玉蜀黍	1980
2 加倉井和夫	穀機	1967
3 酒井亜人	晩秋	1952
4 島多訥郎	秋趣	1966
5 関主税	滝	
6 富取風堂	晩秋	1955
7 富取風堂	きびと茄子	
8 東山魁夷	秋深	1975
9 牧野三生郎	比叡定光院	1968
10 若木山	三篠刈る信濃の女	1955

洋画

1 石井柏亭	裏磐梯の秋	1952
2 石橋武治	白鷺のいる風景	1953
3 板倉鼎	静物	1927
4 大崎善生	初秋水郷	1989
5 加藤源之助	秋の山 (大和初瀬村)	1908
6 河上左京	静物	大正末~昭和初期
7 国枝金三	大阪風景	1909
8 小山周次	林檎と柿	1961
9 柳原一広	収穫	1918
10 櫻田精一	秋霖の頃	1996
11 霜鳥之彦	秋果	1960
12 椿貞雄	秋果図	1951
13 都鳥英喜	八瀬の秋	1929
14 中山爾郎	秋装の群落	1988
15 長谷川良雄	晩秋	1909
16 柳敬助	静物	1921頃

工芸

1 上野斌郎	郊外秋景染色屏風
--------	----------

版画

1 川瀬巴水	市川の晩秋	1930
--------	-------	------

工芸 - 技と美 -

会期 平成 16 年 9 月 4 日 (土)
 (日) 9 月 5 日 ~ 10 月 11 日 (月)
 会場 第 3 示室
 開催日数 33 日間
 展示点数 28 点

陶芸

1 沼田一雅	鸚鵡
2 清水六兵衛(5代)	向付皿
3 横山朝陽	牡丹紋搔落壺
4 宮之原謙	象嵌十字星結晶花挿 1932
5 土肥刀泉	辰砂菊花花瓶
6 加藤土師萌	酒瓶 1942
7 神谷紀雄	鉄絵銅彩椿紋壺 1986

染織

1 青木滋芳	洞門 1965
2 深沢範子	シニヨリーア回廊 1990
3 松原利男	長板中形 蛤と海草文 1997
4 松原利男	長板中形 鯉文 1998

漆芸

1 増村益城	乾漆波文溜塗盛器 1965
2 三村比呂志	想曲 1971

金工

1 香取秀真	鳩香炉 1949
2 津田信夫	雷吼一聲 1935
3 高村豊周	青銅花入
4 鹿島一谷	布目象嵌 白鷺四態図 銀水注 1996
5 関谷四郎	銅鉄壺 1974
6 宮田宏平	生命の透間風 1982
7 鈴木治平	湿原の詩 1985
8 小林正利	祈り (啓蟄) 1975

ガラス

1 各務鉱三	水指
2 藤田喬平	飾管朱雀 1978
3 石井康治	彩花文器 1995

木工

- 1 秋山逸生 蝶貝象嵌箱 1966
 2 中台瑞真 桐菱形塗輪花盛器 1966
 3 戸島甲喜 聖域の傳説 1976
 革
 1 猪俣伊治郎 行き交うかたち 1986

光へのまなざし

- 会期 (土) 平成 17 年 1 月 29 日 (土) ~ 4 月 10 日 (日)
 会場 第 3 展示室
 開催日数 62 日
 展示点数 22 点

日本画

- 1 大田歳 北海 1979
 2 後藤純男 山門雨後 1974
 3 斎藤惇 五台山大白塔 1986
 4 酒井亜人 茶室 1953
 5 杉原元人 更 1993
 6 吉岡堅二 濤 1939

洋画

- 1 大久保作次郎 庭の木陰 1916
 2 小堀進 レマン湖畔 1962
 3 小堀進 霞ヶ浦 1973
 4 佐善明 サンフランシスコ昼下り 1987
 5 星加達夫 影 1996
 6 フォンタネージ牛を追う農婦 1862頃
 7 トロワイヨン 河辺の道 1860-1865
 8 ジャック 森の中 1871
 9 ドービニー ヴァルモンドワの小川 1844

彫刻

- 1 原武典 水の中の太陽 ('81) 1981
 2 原武典 水の中の太陽 ('82) 1982

版画

- 1 星裏一 星の森 (大) 1971
 2 星裏一 夜明け 1975
 3 星裏一 陽 (林) 1978
 4 利渉重雄 光の息 1991
 5 利渉重雄 晨への旅 1998

企画展

- 漁民を描く - 渡辺學の世界

渡辺學は、銚子に生まれ、郷土銚子の漁民や漁場を素材にした創作活動を続けた作家で、その画風は、60年以上にわたる創作活動の中で、様々な変遷を経ており、晩年に至ってもたゆまず進化し続けました。

この展覧会では、渡辺が東京美術学校に入学して以降の画風の変遷について年代を追って展示するとともに、作品の舞台となった銚子の風物や文化を紹介した。

また、サテライト展示として、平成17年1月18日（火）から24日（月）まで「渡辺學デッサン展」を（株）三越千葉店で、同店の協賛を得て実施しました（12点展示）。

会期 平成16年11月27日（土）
～平成17年1月23日（日）

会場 第8展示室

開催日数 42日

展示点数 62点

入場者数 7,092人

日本画

1	渡辺學	しゅろ	1936
2	渡辺學	暮れる日本橋	1938
3	渡辺學	婦人像	1938
4	渡辺學	闘鶏	1936-41
5	渡辺學	争奪	1946
6	渡辺學	黒潮	1952
7	渡辺學	魚と人	1956
8	渡辺學	加工場の男	1956
9	渡辺學	風化	1961
10	渡辺學	風化	1961
11	渡辺學	浜	1961
12	渡辺學	崖	1962
13	渡辺學	魚・人	1962
14	渡辺學	斗魚	1962
15	渡辺學	魚碑	1963
16	渡辺學	運ぶ	1966
17	渡辺學	池心洋々	1967
18	渡辺學	衡のある風景	1968
19	渡辺學	衡	1968
20	渡辺學	衡と魚	1968

21	渡辺學	外川の娘たち	1960年代
22	渡辺學	鵜盜	1972
23	渡辺學	海女	1972
24	渡辺學	投網持つ人	1974
25	渡辺學	船を焼く	1974
26	渡辺學	ぬぐ	1975
27	渡辺學	海苔とる浜（秋）	1975
28	渡辺學	川口	1976
29	渡辺學	夜明け	1976
30	渡辺學	遺された人（川口）	1977
31	渡辺學	衡のある部屋	1978
32	渡辺學	白い海	1979
33	渡辺學	白濤図	1970年代
34	渡辺學	屏風ヶ浦	1970年代
35	渡辺學	白濤図	1970年代
36	渡辺學	凍る空	1980
37	渡辺學	海人	1982
38	渡辺學	波と人	1985
39	渡辺學	遺された人々	1986
40	渡辺學	川口	1987
41	渡辺學	鰯たく浜	1987
42	渡辺學	魚族	1988
43	渡辺學	舟方	1988
44	渡辺學	網と人と	1990
45	渡辺學	黒の大地	1990
46	渡辺學	地炎	1990
47	渡辺學	夜明け	1991
48	渡辺學	廻り船の男	1992
49	渡辺學	九十九里.No.2	1992
50	渡辺學	真昼の浜	1992
51	渡辺學	遺された魚	1993
52	渡辺學	海苔とる浜	1993
53	渡辺學	汐と人と	1994
54	渡辺學	真昼	1995
55	渡辺學	加工場明ける	1995
56	渡辺學	海碑（川口）	1998
57	渡辺學	魚炎	1998
58	渡辺學	磯	1999
59	渡辺學	海碑（一の島）	1999
60	渡辺學	灘	1999
61	渡辺學	浜	1999
62	渡辺學	川口	2000

特別協力：銚子市・銚子市教育委員会

後援：NHK千葉放送局・(株)ベイエフエム

協賛：(株)三越千葉店

第28回千葉県移動美術館

佐原市中央公民館を会場として、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・版画の各分野にわたる千葉県立美術館の所蔵作品を紹介するとともに、第56回千葉県美術展覧会の受賞作品も併せて展示した。

会期	平成16年11月23日(火)
	～12月5日(日)
会場	佐原市中央公民館
展示点数	36点

入場者数 1,834人

日本画

1 島多訥郎	秋趣	1956
2 関主税	滝	
3 富取風堂	漁港の夕	1950

洋画

1 浅井 忠	農婦	1902
2 石橋武治	水辺	1956
3 梅原龍三郎	皇居	1980
4 円城寺昇	岩	
4 大崎善生	初秋水郷	1989
5 岸田劉生	霽れたる冬之日	1917
6 久保木彦	鉄路の信号ボックス	1978
7 小堀進	ロンドンの朝	1964
8 柴田祐作	白い蔵	1988
9 前林章司	奥入瀬	1968
10 山本不二夫	美しき佐原河港	1940
11 コロー	ファンタスティックな風景	1830～35
12 フォンタナージ	牛を追う農婦	

彫刻

1 鈴木章	七面鳥	1932
2 高村光太郎	手	1918
3 長谷川昂	朝	1979

工芸

1 秋山逸生	菱華文象嵌長手箱	1946
2 香取秀真	鳥銅鳳凰香炉	1911
3 小林正利	宴野	1996
4 津田信夫	北夜猫子	1941
5 藤田喬平	飾籠・しだれ櫻	1985

6 宮田宏平	生命の透間風	1982
7 山本正年	瑞光	

書

1 鈴木方鶴	壺中日月長	1984
2 千代倉桜舟	星野立子の俳句	1980

版画

1 池田満寿夫	午後	1969
2 浜口陽三	ピーマンのある静物	1960
3 深沢幸雄	憂愁市街(迷路)	1985
4 星襄一	野の木(A)	1978

第56回県展《県展賞》受賞作品

1 井上美知子	Shadow	2004
2 四宮美紗子	シンフォニー	2004
3 射落通子	テーベの午後	2004
4 杉本英華	白居易詩	2004

■ キッズ・サマーコンサート

企画展「こどものための展覧会 2004」の開催中に関連事業として、千葉県立千葉女子高等学校オーケストラ部と連携し、こどものためのコンサートを行った。

「絵画と音楽で旅するヨーロッパ」をテーマに、美術と音楽のコラボレーションによる楽しいコンサートを行い、好評を得た。

期日 7月 25日（日）
14時～、15時～の2部制。

場所 第8展示室

参加者数 [1部] 292人 [2部] 181人



■ ミュージアムコンサート

企画展「—漁民を描く— 渡辺學の世界」の開催中に、「海と自然に寄せて」と題してニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のメンバーによるコンサートを行った。

「月の沙漠」や「浜辺の歌」などの海に関連する唱歌から、「美しき青きドナウ」など自然に関連する曲を演奏し、好評を得た。

期日 12月 4日（土）14時～

場所 講堂

参加者数 102人



■ 一日学芸員体験

平成14年度より施行されている新学習指導要領

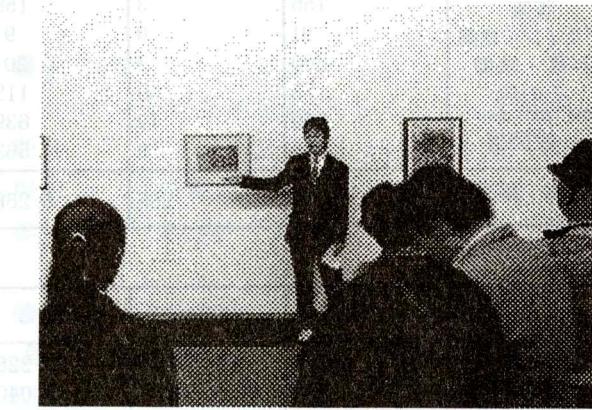
の趣旨に鑑み、本館と学校教育との連携を密にし、両者が一体となって児童及び生徒が、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成することができるための事業として実施した。

内容は、午前は美術館の役割や学芸員の仕事を理解するためのガイダンス、バックヤードを含めた館内施設見学、そして実技Ⅰとして野外彫刻の点検及び鑑賞をし、それをまとめて発表会を行った。午後からは、実技Ⅱとして、美術工芸品の壺、掛け軸の取り扱いと保管の仕方を和室で行った。

参加学校数 中学校 11校、高等学校 5校

参加生徒数 99人

■ 美術館講座



平成15年度より、博学融合の理念に基づき、千葉県立八街高等学校の設置する総合学科の授業の充実に協力するため、美術館と高校が相互連携して「美術館講座」を開設した。4月から美術館の学芸職員7人が一年間をとおして、当該講座選択者14人の指導のため当該高校に出向いたり、生徒が美術館で実際の学芸員の仕事を体験したりした。

当講座の内容は、美術館の役割や使命、学芸員の仕事を学び、さらに理解を深めるために、実際に本館の収蔵作品の中から生徒個々が興味・関心のある作品を選定し、調査・研究を行い、情報の発信の仕方や美術工芸品の取り扱いを体験し、最後にその成果を発表する展覧会を開催するというものである。

1月 14（金）～1月 16日（日）に本館で当該高校生による展覧会「～高校生が見る時代～展」を開催し、来館者を前に受講生一人一人が、自分が選んだ作品についてギャラリートークを行った。

■情報資料室

開館日の13時～16時に開室し、県民の方々の美術情報資料（図書、雑誌、図録、新聞等）の利用に供した。また、各地の展覧会やイベントについて、資料室前のロビー等でポスター、チラシ、情報資料室等により、美術情報を提供した。

なお、16年度の収蔵図書については、205冊の寄贈を受け、美術情報資料の充実を図った。

区分	平成15年度まで	平成16年度	計
美術総記	1,892	4	1,896
絵画	1,675	43	1,718
彫刻	277	4	281
工芸	402	6	408
書	182	18	200
版画	156	3	159
デザイン・建築	91	0	91
写真・映像	200	1	201
その他	73	39	112
雑誌（合冊・復刻）	560	79	639
一般図書	555	8	563
合計	6,063	205	6,268

区分	平成15年度まで	平成16年度	計
購入図書	3,228	0	3,228
寄贈図書	2,835	205	3,040
合計	6,063	205	6,268

■教師のためのアートガイダンス

美術館、学校との連携による体験学習講座を行い、新学習指導要領に示された学校の図工・美術・芸術教育等における美術館利用の促進及び学校教育推進に資するために実施した。

期日 8月11日（水）14時～

場所 研修室、和室、第二アトリエ

対象 小・中・高等学校の担当教員

参加者数 71人

■高校生のための美術館セミナー

県内高校生を対象にした体験学習を実施した。作品の解説・取扱いの二つの実習を行った。

解説では、館内で展示中の作品から一点選び、その感想を中心に作品解説を行った。

取扱いでは、壺や掛軸など日本の伝統的な美術品を実際に触って取扱いを体験した。

期日 8月20日（金）13時～

場所 展示室、研修室、和室

参加者数 14人

■実技講座

陶芸講座

期日 4/20(火)21(水)23(金)5/14(金)15(土)25(火) (6日間、講師指導日数は6日間)

講師 神谷紀雄氏 (受講者数30人)

内容 焼成・絵付け・葉掛けなどの製作過程から、用具の取り扱いや陶芸の基本的な技術を学習した。

陶芸経験者講座

期日 5/27(木)28(金)29(土)6/1(火)17(木)24(木) (6日間、講師指導日数は6日間)

講師 神谷紀雄氏 (受講者数20人)

内容 一人一作品を基本とし、基礎的な制作知識を修得している人が、より高度な技能を修得できるように実施した。

銅版画講座

期日 7/3日(土)、4(日) (2日間、講師指導日数は2日間)

講師 上田靖之氏 (受講者数24人)

内容 土・日曜日の二日間で銅版画の制作や鑑賞を通して、銅版画の魅力を味わうとともに、凹版画の基礎的な技法を学習した。

金工講座

期日 9/9(木)10(金)11(土)14(火)15(水)16(木)18(土)22(水)23(木)24(金) (10日間、講師指導日数は7日間)

講師 小林正利氏 (受講者数18人)

内容 銅板レリーフと彫金の制作を通して、各種工具の取り扱い方を学習するとともに、金工の基礎的な技法を学習した。

版画講座

期日 1/27(木)28(金)29(土)2/3(木)4(金)5(土)8(火)10(木)11(金)12(土) (10日間、講師指導日数は7日間)

講師 上田靖之氏 (受講者数17人)

内容 木版画・銅版画の学習を通して、木版画や銅版画の持つ魅力を味わい、凸版画、凹版画の基礎的な技法や幅広い版画の表現方法を学習した。

篆刻講座

期日 2/24(木)25(金)26(土)3/1(火)2(水)3(木)
(6日間, 講師指導日数は4日間)
講師 細谷恵志氏 (受講者数18人)
内容 手軽にできる石材彫刻を通して篆刻の魅力
を堪能し篆刻の基本的な技法を学習した。

■学校巡回展

県内公立小・中学校生徒を対象に、身近なところで優れた美術品を鑑賞できる機会を提供するため、「美術館がやってきた」をテーマに、名画の複製画を巡回展示した。(数字は見学者数)

鋸南町立鋸南中学校

期日 9月22日(水)～10月8日(金)

参加者数 257人

<ギャラリートーク>

期日 10月8日(金)

参加者数 80人

館山市立房南中学校

期日 10月13日(水)～10月29日(金)

参加者数 94人

館山市立北条小学校

期日 11月2日(火)～11月18日(木)

参加者数 742人

<ギャラリートーク>

期日 11月10日(水)

参加者数 237人

■ワークショップ

美術館でしか味わえないエキサイティングで躍動的な創作体験を通して、こども達に親しまれる美術館の促進を図るため、ワークショップを開催した。

●第1回ワークショップ

「300人でウォールペイント! ど・どうなるの?」

期日 5月22日(土) 13:00～15:00

場所 美術館野外

参加者数 325人

●第2回ワークショップ

「お祭りワ～ク! 作らにやそんそん」

期日 6月15日(火) 11:00～15:00

場所 第7展示室前

参加者数 260人

●第3回ワークショップ

「おもしろオブジェ! ZOO夢 in Art 動物天国!」

PART①「バルーンZOO夢」

期日 8月7日(土) 13:00～15:00

場所 第7展示室

参加者数 71人

PART②「スチロールカービングZOO夢」

期日 8月21日(土) 13:00～15:00

場所 第4展示室

参加者数 24人

PART③「アニマルマンションZOO夢」

期日 8月28日(土) 13:00～15:00

8月29日(日) 13:00～15:00

場所 第4展示室

参加者数 47人(両日の合計)

●第4回ワークショップ

「ポップコーディネイトINモノレール千葉駅」

期日 10月9日(土) 13:00～15:00

場所 千葉都市モノレール「千葉駅」構内

参加者数 91人

●第5回ワークショップ

「銚子伝統体験・銚子ちぢみ藍染体験!」

期日 11月27日(土) 11:00～15:00

場所 第2アトリエ

参加者数 62人

■いいっペ! 銚子”まるごと体感”

「銚子はね太鼓のライブ」「マグロの解体ショー」「ぬれせん焼き体験」「銚子物産販売」「銚子郷土研究家によるギャラリートーク」「万祝式染め物 染色&祝旗下絵実演」「千葉県立銚子商業高等学校チャレンジショップCHOSHOU」など、銚子をまるごと体感できるスペシャルイベントを開催した。

期日 12月12日(日)

場所 美術館野外芝生広場、展示室

■美術講演会

演題 -郷土銚子に生きた画家-

「渡辺學の人と芸術」

講師 瀧島誠一郎氏(信濃デッサン館館主)

期日 12月18日(土) 14:00～15:00

場所 講堂

参加者数 127人

■鑑賞教室むじやキック 3 デイ

●第1回むじやキック 3 デイ

「皮のながれのよ～に？」

期日 平成 16 年 4 月 18 日 (日)

13:00 ~ 15:00

場所 第 7 展示室

参加者数 40 人

●第2回むじやキック

「フロタージュ・小さい秋.. 見つけた」

期日 9 月 18 日 (土) 13:00 ~ 15:00

場所 第 7 展示室

参加者数 18 人

●第3回むじやキック

「書ッキングな書・どう？」

期日 平成 17 年 2 月 19 日 (土)

13:00 ~ 15:00

場所 第 7 展示室

参加者数 32 人

■美術めぐりの旅

県内外の各地に残された古今の優れた美術品等を訪ねることにより、美術への興味、関心を深め、美術館の活動の充実化及び利用促進を図ることを目的として開催した。

期日 9 月 25 日 (土)

場所 村内美術館、東京富士美術館、千葉県立美術館

参加者数 39 人

■活動協力

□千葉県立美術館友の会

1. 目的

“みる・かたる・つくる”という美術館活動に積極的に協力し、楽しい雰囲気のなかで、教養を豊かにし、美術文化の向上を図り会員相互の親睦を深める。

2. 組織

(1) 会員数 個人会員 423 人、賛助会員 2 人
(2) 役員 会長 1 人、副会長 3 人、監事 2 人
理事若干名

3. 事業

(1) 友の会だより「しおさい」の発行、年 4 回

各 1,000 部印刷し、会員に配布した。

(2) 第 29 回葉美会展の開催

会期 平成 16 年 9 月 7 日 (火) ~ 12 日 (日)

出品者 64 人

展示点数 113 点

(3) 秋の美術鑑賞の旅

美術品や文化財を訪ねながら、親睦を深めるために実施した。

期日 10 月 28 日 (木)

場所 六義園、大谷美術館、篠原風鈴

参加者数 43 人

(4) 館事業への協力

ミュージアムグッズの販売・実技講座の開催のほか、講演会など県民アトリエ事業に積極的に参加した。

(5) その他

テレホンカード・絵葉書・額縁・額絵・図書等の販売

4. 平成 16 年度 友の会実技講座

洋画入門講座 (1)

期日 5/22 (土) 23 (日) 29 (土) 30 (日) 6/5 (土) 6 (日) (6 日間)

講師 根岸茂行氏

受講者数 30 人

洋画入門講座 (2)

期日 6/10 (木) 11 (金) 17 (木) 18 (金) 24 (木) 25 (金) (6 日間)

講師 羽生智樹氏

受講者数 35 人

洋画入門講座 (3)

期日 7/1 (木) 3 (土) 4 (日) (3 日間)

講師 根岸茂行氏

受講者数 19 人

洋画入門講座 (4)

期日 7/10 (土) 11 (日) 17 (土) (3 日間)

講師 根岸茂行氏

受講者数 22 人

■平成16年度貸出資料一覧

作家名	作品名	展覧会名	会期・展示会場	申請者(貸出先)
浅井忠 浅井忠 浅井忠 長谷川良雄 長谷川良雄 長谷川良雄 牧野克次 間部時雄 間部時雄 間部時雄 加藤源之助	京都高等工芸学校の庭 婦人像 農家 京都高等工芸学校の庭 下鴨 晩秋 松林 田園風景 寒村 田中の牧場 秋の山(大和初瀬村)	間部時雄展	平成16年4月20日(火)～6月20日(日) 府中市美術館	府中市美術館
ドービニー ドービニー フォンタネージ	ヴァルモンドアの小川 オワーズ川のほとり 池と樹木	イメージの水位 ナルキッソスをめぐる変容と反射	平成16年7月6日(火)～9月5日(日) 豊田市美術館	豊田市美術館
浅井忠	絵皿	2005年日本国際博覧会 開催記念展 「世紀の祭典 万国博覧会の美術」	平成16年7月6日(火)～8月29日(日) 東京国立博物館 平成16年10月5日(火)～11月28日(日) 大阪市立美術館 平成17年1月5日(水)～3月6日(日) 名古屋市博物館	東京国立博物館 大阪市立美術館 名古屋市博物館 日本放送協会 日本経済新聞社
鶴田吾郎	初秋	風景と花の画家 ～「曾宮一念展」	平成16年7月22日(木)～8月22日(日) 浜松市美術館	浜松市美術館
浅井忠 浅井忠 浅井忠 浅井忠 大川逞一 菅谷元三郎 津田信夫 津田信夫 津田信夫	印旛沼 東宮御所壁装草稿(1) はたらく婦人 老母像 聖観音 沼風景 弥勒菩薩 鴨 嘶馬	佐倉市市制施行 50周年記念事業 「佐倉の美術」	平成16年8月21日(土)～9月26日(日) 佐倉市立美術館	佐倉市立美術館
小倉惣次郎	伊藤博文像	〈彫刻〉と〈工芸〉 ～近代日本の技と美	平成16年8月24日(月)～10月24日(日)	静岡県立美術館
浅井忠 浅井忠 浅井忠 浅井忠 大久保作次郎 大久保作次郎 大下藤次郎 河合新蔵 都島英喜 松岡寿	曳舟通り 藁屋根 風景(1) 風景(2) 海水浴場 山へ 久々子湖 春の日 舟小屋 森と小川	葉山館開館一周年記念 近代日本絵画に見る 「自然と人生」	平成16年9月11日(土)～10月17日(日) 神奈川県立近代美術館 葉山	神奈川県立近代美術館
津田信夫 津田信夫 津田信夫 津田信夫 津田信夫 津田信夫 津田信夫 山室百世	水盤 鳳翔薰炉 一點玲瓏 煙草入れ 海 鳥 部品 銅草花置物	金属の変貌	平成16年9月11日(土)～10月10日(日) 高岡市美術館 平成16年11月20日(土)～12月24日(金) 佐倉市立美術館	高岡市美術館 佐倉市立美術館 美術館連絡協議会
吉岡堅二	滄	市制施行50周年記念 「牛島憲之と昭和前期の 絵画－抽象と具象のあいだ－」	平成16年10月9日(土)～11月28日(日) 府中市美術館	府中市美術館
浅井忠 石井林響	金州城外之図 木華開耶姫	日本絵画・20世紀の草々	平成16年10月28日(木) ～平成17年1月14日(日) 下関市立美術館	下関市立美術館
若木山 梅原龍三郎 石井雙石	三箇刈る信濃の女 竹恋説書図 一笑百印 一笑百印(印影)	県立美術館・博物館合同 企画事業 竹ながいともだち	平成16年11月30日(火)～12月25日(土) 千葉県立關宿城博物館 平成17年1月8日(土)～2月6日(日) 千葉県立中央博物館 平成17年2月12日(土)～3月6日(日) 千葉県立房総のむら 平成17年3月12日(土)～5月8日(日) 千葉県立現代産業科学館	千葉県立關宿城博物館 千葉県立中央博物館 千葉県立房総のむら 千葉県立現代産業科学館
遠藤健郎 遠藤健郎 遠藤健郎 遠藤健郎 遠藤健郎	朝市 房総線ディーゼル・カーの乗客たち 我は海の子 ケチャックの踊り(バリ) バリの森の女たち	遠藤健郎絵画展	平成17年1月29日(土)～2月27日(日) 千葉市美術館	千葉市美術館
松尾敏男	歴程	特別展「歩み－歌会始御題によせて－」	平成17年3月30日(水)～5月8日(日) 式年遷宮記念神宮美術館	式年遷宮記念神宮美術館

□ 調查・収集事業 □

■収蔵資料数一覧 (平成17年3月31日現在)

受入方法 種別	購入	寄付	保管換	合計
日本画	128	167	25	320
洋 画	352	496	42	890
彫 刻	83	49	11	143
工 芸	149	217	10	376
書	110	141	14	265
版 画	175	76	5	256
合 計	997	1,146	107	2,250

研究資料	244	1,250	53	1,547
------	-----	-------	----	-------

■ 平成 16 年度収蔵資料一覧

番号	作家名 (幅) × 奥行 (cm)	資料名	制作年	材質・技法	受入方法	x 寸法縦 (高) × 横
1	重田良一	山臥龍	1986	和紙・アクリル彩	寄附	65 × 162
2	重田良一	動物空間	1986	和紙・アクリル彩	寄附	161.5 × 54
3	重田良一	風とともに現れるとり	1986	和紙・アクリル彩	寄附	143 × 47
4	成瀬映山	帰去来辞		紙・墨	寄附	136.3 × 70 (2枚)
5	山口 達	機織り		紙・着彩	寄附	152 × 182.5
6	齋藤 悅	上華厳寺詣	1998	紙・着彩	寄附	215 × 170
7	齋藤 悅	大漁の日	2002	紙・着彩	寄附	100 × 100
8	三宅策郎	両神山遠望	2000	キャンバス・油彩	寄附	81 × 100.2
9	行木正義	パリのエンド抽象画	1955	キャンバス・油彩	寄附	65 × 100.3
10	行木正義	青の中の棒の遊び	1958	キャンバス・油彩	寄附	38.2 × 45.7
11	行木正義	点の詩	1965	紙・水彩	寄附	54.3 × 21.8
12	行木正義	Paris	1984	キャンバス・油彩	寄附	45.7 × 53.2
13	行木正義	フランスオンフルール風景	1988	キャンバス・油彩	寄附	60.3 × 72.7
14	行木正義	Lに斜線	1993	キャンバス・油彩	寄附	53.2 × 45.7
15	松室重剛	秋の山		紙・水彩	寄附	16 × 26.5
16	松室重剛	富士		紙・水彩	寄附	12.8 × 17.8
17	松室重剛	山		紙・水彩	寄附	7.9 × 17
18	松室重剛	妙義山		紙・鉛筆	寄附	19.2 × 25.1
19	松室重剛	渓谷		紙・鉛筆	寄附	18.8 × 14.2
20	松室重剛	富士遠望		紙・色鉛筆	寄附	22.8 × 28.9
21	針生鎮郎	王と妃 (あやとり)	1988	キャンバス・油彩	寄附	73 × 91
22	針生鎮郎	あかい	1983	キャンバス・油彩	寄附	60.5 × 50
23	針生鎮郎	たちんぼ	1983	キャンバス・油彩	寄附	72.5 × 116.5
24	針生鎮郎	トリ	1969	キャンバス・油彩	寄附	162 × 130.5
25	針生鎮郎	いちご畑・ボス	1965	キャンバス・油彩	寄附	162 × 162
26	針生鎮郎	王と妃・面Ⅲ	1988	キャンバス・油彩	寄附	194.5 × 162
27	針生鎮郎	家族	1963頃	キャンバス・油彩	寄附	160 × 130.5
28	木村賢太郎	作品 77	1963	石	寄附	63 × 31.5 × 31.5
29	木村賢太郎	待っている時	1965	石	寄附	69 × 36 × 36
30	木村賢太郎	街角 8	1982	石	寄附	60.5 × 19.5 × 19.5
31	木村賢太郎	海の上で夢を見た	1984	石	寄附	28.5 × 59 × 28.5
32	木村賢太郎	トルソー	1990	石	寄附	63.5 × 35 × 35
33	木村賢太郎	化粧する女 2	1991	石	寄附	76.5 × 42.5 × 42.5
34	木村賢太郎	立っている形 6	1991	石	寄附	77 × 48.5 × 48.5
35	木村賢太郎	街角 13	1992	石	寄附	63.5 × 33 × 33
36	木村賢太郎	お餅	1993	石	寄附	20 × 20.5 × 20.5
37	木村賢太郎	街角 14	1994	石	寄附	30 × 21.5 × 21.5
38	木村賢太郎	波 1	1995	石	寄附	31.5 × 22 × 22
39	木村賢太郎	波 2	1995	石	寄附	15 × 30 × 15
40	木村賢太郎	波 3	1995	石	寄附	29.5 × 15.5 × 15.5
41	木村賢太郎	四つの姿 1	1995	石	寄附	37 × 26 × 26

42	木村賢太郎	波4	1996	石	寄附	50×29×29
43	木村賢太郎	四つの姿3	1996	石	寄附	37×26×26
44	木村賢太郎	四つの姿4	1996	石	寄附	38×25×25
45	木村賢太郎	四つの姿5	1998	石	寄附	160×91.5×21.5
46	木村賢太郎	四つの姿6	2000	石	寄附	124×74.5×74.5
47	木村賢太郎	生成2	2001	石	寄附	94×56×56
48	木村賢太郎	生成3	2002	石	寄附	94×47.5×47.5
49	木村賢太郎	友達	2004	石	寄附	88×66.5×66.5
50	平戸 眞	脱	1982	石膏	寄附	176×44×52
51	六崎敏光	つどい	1996	ブロンズ	寄附	50×46×29
52	上野斌郎	楽園染色壁掛け		染色	寄附	212.5×151.7
53	藤田喬平	彩環	1993	ガラス	寄附	55×52×12
54	藤田喬平	容	1987	ガラス	寄附	75×径40
55	藤田喬平	平和	2001	ガラス	寄附	85×径44
56	藤田喬平	炎の舞	2002	ガラス	寄附	80×53×50
57	藤田喬平	秋宝	2003	ガラス	寄附	39×径56.5
58	藤田喬平	飾筥・湖上の花	1980頃	ガラス	寄附	15.5×径16
59	藤田喬平	飾筥・琳派	1985頃	ガラス	寄附	75×径45
60	藤田喬平	飾筥・日輪	1993頃	ガラス	寄附	17.5×30×23.5
61	藤田喬平	飾筥・紅白梅	1995頃	ガラス	寄附	22×21×22
62	藤田喬平	飾筥・源氏物語	1995	ガラス	寄附	15×20×20
63	藤田喬平	飾筥・室町	1996頃	ガラス	寄附	17×22.5×22.5
64	藤田喬平	飾筥・瑞光	1998	ガラス	寄附	21×23.5×21
65	藤田喬平	飾筥・五色の舞	1998	ガラス	寄附	13.5×23.5×21
66	藤田喬平	飾筥・醍醐	2001	ガラス	寄附	18×29.5×26
67	藤田喬平	ヴェニス贊歌	1983	ガラス	寄附	49×径28
68	藤田喬平	ヴェニスの灯	1984	ガラス	寄附	64×径22
69	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1990	ガラス	寄附	27×26×25
70	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1995	ガラス	寄附	28.5×径20
71	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1996	ガラス	寄附	35×20×11
72	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1996	ガラス	寄附	36×径20.5
73	藤田喬平	ヴェニス花瓶	2002	ガラス	寄附	38×径27
74	藤田喬平	ヴェニス花鉢	2003	ガラス	寄附	24×径46
75	藤田喬平	ヴェニス花瓶	2003	ガラス	寄附	45×径16
76	藤田喬平	ヴェニス花瓶	2003	ガラス	寄附	45×径16
77	藤田喬平	平水指	2002	ガラス	寄附	13×径32
78	藤田喬平	水指	2003	ガラス	寄附	17×23.5×19.5
79	藤田喬平	ヴェニス・スタンド	1982	ガラス	寄附	43.5×25×23.5
80	藤田喬平	ヴェニス・スタンド	1986	ガラス	寄附	34×径29
81	藤田喬平	ヴェニス・スタンド	1986	ガラス	寄附	32×径28
82	藤田喬平	春の小川	1955	ガラス	寄附	25×24×10
83	藤田喬平	花瓶「三彩」	1962	ガラス	寄附	21×径22
84	藤田喬平	三彩花瓶	1963	ガラス	寄附	23×径21
85	藤田喬平	流动三彩	1965	ガラス	寄附	21×22×17
86	藤田喬平	緑の花	1967	ガラス	寄附	17.5×21×21

87	藤田喬平	流動「牡丹」	1967	ガラス	寄附	26 × 28 × 28
88	藤田喬平	岳	1968	ガラス	寄附	18 × 40 × 4
89	藤田喬平	華	1969	ガラス	寄附	40 × 18 × 4
90	藤田喬平	光輝	1970	ガラス	寄附	24 × 径 17
91	藤田喬平	三彩	1980	ガラス	寄附	23 × 径 20.5
92	藤田喬平	三彩花盛鉢	1983	ガラス	寄附	23 × 18 × 18
93	藤田喬平	三彩鉢	1984	ガラス	寄附	15 × 33 × 30.5
94	宇津木紅來	流鶯	1987	紙・墨	寄附	188 × 185
83	藤田喬平	花瓶「三彩」	1962	ガラス	寄附	21 × 径 22
84	藤田喬平	三彩花瓶	1963	ガラス	寄附	23 × 径 21
85	藤田喬平	流動三彩	1965	ガラス	寄附	21 × 22 × 17
86	藤田喬平	緑の花	1967	ガラス	寄附	17.5 × 21 × 21
87	藤田喬平	流動「牡丹」	1967	ガラス	寄附	26 × 28 × 28
88	藤田喬平	岳	1968	ガラス	寄附	18 × 40 × 4
89	藤田喬平	華	1969	ガラス	寄附	40 × 18 × 4
90	藤田喬平	光輝	1970	ガラス	寄附	24 × 径 17
91	藤田喬平	三彩	1980	ガラス	寄附	23 × 径 20.5
92	藤田喬平	三彩花盛鉢	1983	ガラス	寄附	23 × 18 × 18
93	藤田喬平	三彩鉢	1984	ガラス	寄附	15 × 33 × 30.5
94	宇津木紅來	流鶯	1987	紙・墨	寄附	188 × 185

人材選	7401
人・事	8201
人手需	6901
人材育	6701
人材活	6801
人材育・	6801
人材活	1201
理・研	1801
人材育	2601
人材育	6301
人材活	6801
□管理運営□	
人材育	7401
人材育	6901
□運営方針□	
人材育	1201

□管理運営□

□運營方針□

県民のための美術館として、明るい親しまれる
美術館。

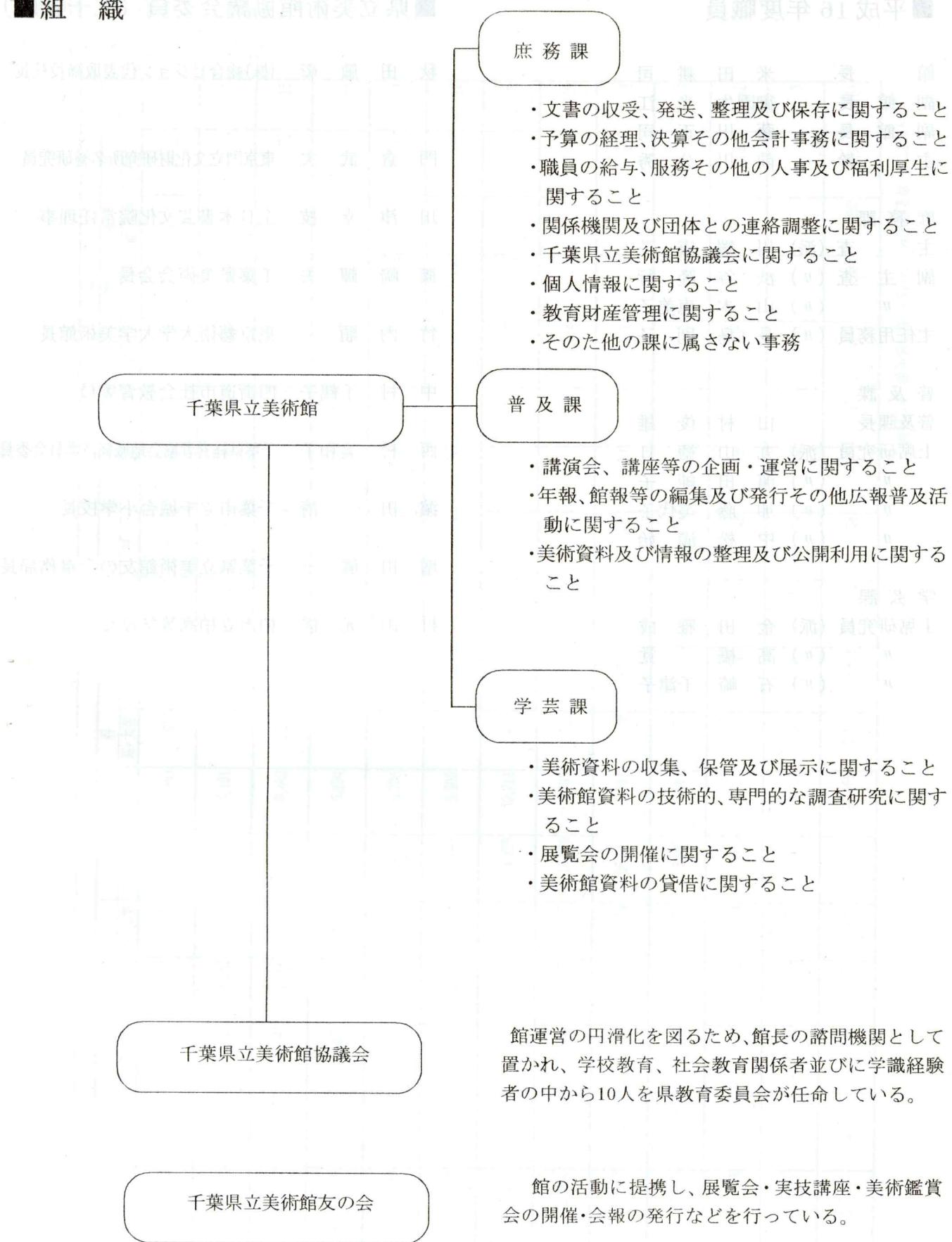
学校教育・社会教育との関連から、教育普及活動を重視し、楽しく学べる美術館。

県民と美術家との交流の場とし、相互の理解と向上を図る美術館。

房総の地にかかわりのある美術家の作品と関係
資料の収集・研究を目指す美術館。

美の広場として、広く美術資料・情報等を収集し、“みる・かたる・つくる”活動を総合的に展開する美術館。

■組織



■平成16年度職員

館長 米田耕司

副館長 御園生光江

副館長 藤川正司

主幹 前川公秀

庶務課

主査(派) 川端康子

副主査(〃) 渋谷隆行

〃(〃) 山本恵美子

主任用務員(〃) 長島則子

普及課

普及課長 田村俊雄

上席研究員(派) 丸山徳日

〃(〃) 濱田純子

〃(〃) 加藤美代子

〃(〃) 中松れい

学芸課

上席研究員(派) 金田雅成

〃(〃) 高橋覺

〃(〃) 石崎千津子

■県立美術館協議会委員(五十音順)

秋田敏彰 (株)総合ビジョン代表取締役社長

門倉武夫 東京国立文化財研究所名誉研究員

川津幸枝 全日本書芸文化院常任理事

篠崎輝夫 千葉県美術会会长

竹内順一 東京藝術大学大学美術館長

中村千鶴子 四街道市社会教育委員

西村美和子 千葉県経営者協会地域経済委員会委員

濱田清 千葉市立千城台小学校長

増田眞一 千葉県立美術館友の会事務局長

村山元信 柏市立柏高等学校長

■利用状況

平成 16 年度入館者数一覧表

開館日数	入場者計	個別入館者										団体料							
		有料		一般		高・大生		計		一般		高・大生		計		一般	高・大生	小・中生	団体数
4月	26	8,550	8,408	1,258	1,205	53	7,150	5,969	635	546	122	37	37	85	64			21	4
5月	27	11,396	10,980	1,442	1,382	60	9,538	8,101	461	976	416	162	60	102	254	137	24	93	12
6月	26	13,217	12,597	1,191	1,166	25	11,406	9,482	270	1,654	620	254	201	53	366	215	79	72	15
7月	27	8,099	7,777	1,477	1,412	65	6,300	5,194	145	961	322	157	157	165	112			53	10
8月	26	10,889	10,726	1,769	1,662	107	8,957	5,776	155	3,026	163	2	2	161	114			47	4
9月	26	8,776	8,395	1,297	1,239	58	7,098	5,903	207	988	381	80	80	301	196			105	12
10月	22	15,263	14,826	597	581	16	14,229	12,714	831	684	437			437	178	180	180	79	8
11月	24	10,962	10,644	594	587	7	10,050	8,793	531	726	318			318	236			82	10
12月	22	27,589	27,349	1,202	1,168	34	26,147	17,343	76	8,728	240	53	53	187	73			114	8
1月	23	7,975	7,820	1,880	1,808	72	5,940	5,544	71	325	155	24	24	131	131			5	
2月	24	8,744	8,087	1,414	1,340	74	6,673	4,728	198	1,747	657	49	49	608	143			465	12
3月	27	6,176	6,095	1,457	1,404	53	4,638	3,919	166	553	81	50	50	31	31			3	
計	300	137,616	133,704	15,578	14,954	624	118,126	93,466	3,746	20,914	3,912	868	713	155	3,044	1,630	283	1,131	103

開館以来 総開館日数 8,913日 総入館者数 5,132,508人

■展示室利用団体

展覧会名	利用期間	展示内容	出品点数
1 第19回千葉県日本水彩展	4/6～11	洋画	206
2 第74回郷陽会展	4/13～18	洋画	221
3 第18回コクリコ会展	4/13～18	ガラス絵	103
4 第18回千葉水彩展	4/20～25	洋画	71
5 第31回千葉新協展	4/20～25	洋画	156
6 第30回模展	4/20～25	日本画・洋画・彫刻・工芸・写真	51
7 MUSABI 展	4/27～5/9	洋画	62
8 第18回カラーダスト展	4/27～5/9	洋画	56
9 第30回歩会彫刻展	4/27～5/9	彫刻	49
10 第28回墨の県展	5/11～16	水墨画・洋画・その他	431
11 第44回千葉アマチュア美術会展	5/18～23	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・その他	1,832
12 千葉多摩美会展	5/25～30	日本画・洋画・デザイン・彫刻・工芸・書・その他	100
13 第35回表美展	5/25～30	表装・額装・屏風	100
14 第31回千虹会日本画展	5/25～6/6	日本画	40
15 第49回二科会千葉支部展	6/1～6	洋画	745
16 第51回千葉県書道協会展	6/8～13	書	506
17 第26回新槐樹社千葉県支部展	6/15～20	洋画・彫刻・工芸	56
18 第27回千葉一陽展	6/15～20	洋画	131
19 第19回日本画四季展	6/15～27	日本画	52
20 千葉幼児美術展	6/15～20	絵画・その他	985
21 第48回千葉県小中学校書写展覧会	6/22～27	書	903
22 第32回水彩連盟千葉支部展	6/29～7/4	洋画	63
23 〈明日を拓く〉教育美術展	6/29～7/4	絵画・その他	444
24 精銳展	6/29～7/4	洋画	85
25 第49回千葉二紀会展	7/6～11	洋画	103
26 第15回千葉県木彫会展	7/6～7/11	彫刻	57
27 第36回千葉市水墨画同好会連合会展	7/13～25	水墨画	461
28 第33回写真千葉県展	7/27～8/8	写真	296
29 第109回習美会初夏大作展	7/27～8/1	日本画・洋画水・墨画	238
30 日本春秋千葉書院展	7/27～8/1	書	223
31 第37回漱雲会全国書道展	7/27～8/1	書	361
32 第14回太平洋美術会千葉支部展	8/3～8	洋画・彫刻・工芸	174
33 おもしろ半島「ちば」観光写真展	8/3～8	写真	42
34 第34回いてふ会彫刻展	8/10～22	彫刻	44
35 第21回「美しい郷土」絵画コンクール優秀作品展	8/17～22	絵画	684
36 第33回千葉硯心会書展	8/17～22	書	44
37 第一美術協会千葉県支部展	8/24～29	洋画・工芸	138
38 なの花書道愛好会展	8/24～29	書	131
39 第44回白扇書道会展	8/31～9/5	書	2,599
40 第42回新世紀千葉支部展	9/7～12	洋画	77
41 第37回千葉県高校芸術祭「合同写真展」	9/7～12	写真	502
42 葉美会展	9/7～12	日本画・洋画・その他	112

43	第51回千葉県勤労者美術展	9/14～20	洋画・書・写真	218
44	第27回千葉県写真展	9/14～26	写真	207
45	第54回デザイン展 CHIBA'04	9/22～26	デザイン	248
46	第34回新構造千葉県支部展	9/22～26	洋画・写真	104
47	第26回等々会千葉県支部展	9/28～10/3	洋画	63
48	第21回中央美術協会千葉支部展	9/28～10/3	日本画・洋画	141
49	第24回二科会写真部千葉支部展	9/28～10/3	写真	90
50	第15回千葉県教育芸術祭	10/5～10/11	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・その他	991
51	千葉国際東方芸術展	10/5～11	水墨画	163
52	第56回千葉県美術展覧会	10/16～11/7	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・その他	2,905
53	千葉県高校芸術祭「美術工芸・書道作品展」	11/9～21	洋画・工芸・書	2,819
54	第36回ファンシー洋画展	11/23～28	洋画	60
55	第31回文化書道千葉県連合会公募展覧会	11/23～28	書	358
56	第36回千葉現展	11/23～28	洋画	67
57	第49回こども県展	11/30～12/12	洋画	9,187
58	亜細亜太平洋水墨画公募展	12/14～19	水墨画	350
59	第32回富士百景写真展	1/5～10	写真	101
60	第40回登龍社書初展	1/5～10	書	313
61	第22回千葉県医師会美術展	1/18～23	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・その他	102
62	群鷗書人展	1/25～30	書	58
63	第20回書星選抜展	1/25～30	書	221
64	第57回千葉県小中高校書き初め展覧会	2/1～6	書	415
65	第16回日本童謡の書展	2/1～6	書	1,854
66	日本和紙ちぎり絵協会千葉県支部展	2/1～6	その他	93
67	子ども造形展	2/8～13	絵画・彫刻・デザイン・立体・その他	1,800
68	千葉県立幕張総合高等学校書道展	2/8～13	書	115
69	千葉大学教育学部美術科・図工科卒業制作展	2/15～20	洋画・彫刻・デザイン・工芸・その他	20
70	千葉大学教育学部第38回学生書道展	2/15～20	書	220
71	千葉日報書道展	2/22～27	書	463
72	第34回千葉県大学美術連盟展	3/1～6	日本画・洋画・工芸・書・写真	80
73	第28回唱和会書展	3/1～6	書	170
74	ダネラ展	3/1～6	工芸	47
75	第10回翔洋展	3/8～13	洋画	52
76	第8回平成美術会展	3/8～13	洋画	200
77	和洋女子大学卒業展	3/8～13	書	45
78	第30回千葉県民写真展	3/15～21	写真	579
79	第52回書星教育部展	3/23～27	書	1,240

■施設

この建物は、幾つかの建設候補地の中から、千葉港に隣接した臨海埋立地の一角に計画された。計画着手当時はこの付近は訪れる人も少なく、海を通して石油基地のタンク群や工場と煙を吐き出す煙突が望める環境であった。

このような当初の環境下で、空気汚染、降下煤塵そして塩害など、建物に与える悪影響が予測されるために、材料の選択、構法、空調計画等は十分な検討がなされた。以下、主な部分について記す。

外壁の打込みタイルー先積ブリック工法

従来の外壁をコンクリートで表現している建物とは異なり、炻器質タイルを型枠代にしてコンクリートを一体に打ち込む工法を用いた。

使用したタイルは従来の断面と異なり、コの字型の断面をしており、型枠にセットせずモルタルにて積上げられるように見込み寸法を5cmの厚みにしてある。

施工方法は、内型枠、配筋工程の次のタイルを積み5段毎に型枠のホームタイを通り、2,400mm程度まで積み上げ単管にて固定する。この2,400mmの高さは、設計段階での試作実験にて安全を確認した数値である。試作段階での支保工は、縦方向に角材を400ピッチに通り、横方向に単管を480ピッチに通り固定したが、施行時は、縦方向に単管を480ピッチに通して固定した。コンクリートの打設は、1.5m～2.0m/hの速度を目標に行い、ポンプにて打設可能な程度までスランプを下げた。この工程を繰返しタイル壁面を構成していった。

タイル面の施工時の汚れ防止には、ふのりを塗布した。タイルの目地は積み上げる工程で仕上げられ、表面に表われない目地の空隙にコンクリートのノロが滲み込んでゆき、目地からの滲透水を防げ満足する状態に仕上がった。

屋根の天然スレート

前述のような環境のもとで、勾配屋根に適し、十分にもちこたえられる材料としては耐候性鋼等が考えられたが、調査の結果により天然スレートを使用した。

空調計画

計画当初より、良好とはいえない外部環境から美術品をいかに保護するかが、海滨に建つ美術館

として、ひとつの重要なテーマだった。外気取入れは、内部に自動巻取りフィルター、中性能フィルター、脱臭フィルターの3種類の空気清浄フィルターを組込んだ外気処理器を通して供給されている。

展示棟はCAV(定風量型) + VAV(可変風量型)方式により計画されている。わが国の美術館は、平常の館内利用者に対して特別展や団体展等のときに非常に利用者がふえて、発熱負荷の変動が大きくなる。VAV方式は、こういった条件に対して非常に効果的であるといえる。

管理棟は、エネルギーの省力化にも役立つVAV方式を採用し、収蔵庫は、露点再熱制御方式により二つの条件の異なる収蔵庫を2台の空調機で空調されている。

照明計画

展示壁面は、自然光源と人工光源とにより全体計画されている。

自然光源は展示棟の高窓から取り入れられ、外部の構型ガラスと内部の紫外線吸収のアクリル拡散板を経て壁面に達する。しかし、太陽直射光の鉛直面照度は8時から15時の間で10%の時間が80,000lx以上、30%の時間が50,000lx以上、50%の時間が25,000lx(平均)以上、90%の時間が5,000lx以上という測定値があり、また水平面照度にしても50,000lx(薄暗)から5,000lx(曇天)の範囲と非常に明るい。このように必要以上に明るい光源は、調光通路内に設けられた2枚の電動スクリーン(これは、計算値により鉛直面照度60,000lx以上の条件のとき必要な枚数で、それぞれ異なる透過率を有する布を使用した)にて基準の壁面照度になるよう調光される。

計算値による通過率をもつクロスでの何回かの現場実験の結果、クロスは白地のポリエステル(通過率53.6%)と黒地のジョーゼット(通過率35%)の2枚を採用した。ここで留意すべき点は、クロスの遮光性能を良くするために、厚地の布や、コーティングされた布を使用すると壁面に色がつくことがある。壁面の照度分布の状態は、視覚的に均一な壁面が確保できた。

曇天・雨天に対しては、蛍光灯と白熱灯を補助照明として設置した。蛍光灯と白熱灯を併用したのは、演色性を高めるためである。

第1、2展示室は、すべて蛍光灯と白熱灯による人工光源で計画されている。壁面照度は、最高

200lxに押えてある。

固定ケースは基準照度を180lxに設定した。照明方法は、全面アルミルーバーの天井ふところに蛍光灯を2本並列させ、その間に白熱灯2個を配置した。

〈設計及び工事監理者〉

大高建築設計事務所

〈施工者〉

建築：(株) 竹中工務店

設備：空調＝東洋熱工業(株)

衛生＝第一管工事(株)

電気＝関東電気工事(株)

備品：天童木工、山口木工、佐々木ブラインド

〈都市計画地域指定〉

用途地域：準工業地域

〈規模・面積〉

敷地面積 33,057.87 m²

建築面積 8,777.94 m²

延床面積 10,663.57 m²

展示棟 6,343.02 m²

管理棟 2,818.89 m²

県民アトリエ棟 1,501.66 m²

駐車台数 97台

〈工期及び建設経費〉

(1) 第1期工事(展示棟) 5,194.59 m²

(建築面積5,102.35 m²)

○工 期 昭和47年9月20日～昭和49年3月31日

工事費 775,967千円

本体工事 425,230千円

電気設備工事 79,663千円

空調設備工事 166,493千円

給排水衛生設備工事 28,995千円

外構工事 67,705千円

ガス工事 7,881千円

(2) 第2期工事(管理棟) 2,274.60 m²

(建築面積1,089.50 m²)

○工 期 昭和50年3月1日～昭和51年2月20日

工事費 453,800千円

本体工事 307,500千円

電気設備工事 30,000千円

空調設備工事 79,000千円

給排水衛生設備工事 19,514千円

外構工事 17,786千円

(3) 第3期工事(県民アトリエ) 1,501.66 m²

(建築面積1,449.34 m²)

○工 期 昭和54年3月22日～昭和55年2月29日

工事費 370,000千円

本体工事 265,300千円

電気設備工事 35,000千円

空調設備工事 56,200千円

給排水衛生設備工事 13,500千円

○工 期 昭和55年12月25日～昭和56年3月24日

工事費 8,000千円

外構工事 8,000千円

(4) 第4期工事(第8展示室) 1,148.43 m²

(収蔵庫 544.29 m²) 1,692.72 m²

(建築面積1,136.75 m²)

○工 期 昭和62年7月11日～昭和63年8月31日

工事費 747,500千円

本体工事 476,000千円

電気設備工事 81,000千円

空調設備工事 171,000千円

給排水衛生設備工事 19,500千円

総工事費 2,355,267千円

工期別面積一覧

区分	地階	1階	2階	塔屋	合計
第1期	325.04	4,750.79	61.00	57.76	5,194.59
第2期	—	1,185.10	1,089.50	—	2,274.60
第3期	—	1,403.15	98.51	—	1,501.66
第4期	15.46	1,132.97	544.29	—	1,692.72
合計	340.50	8,472.01	1,793.30	57.76	10,663.57

〈概要〉

建物

【階数】

地下1階、地上2階、塔屋1階建

【高さ】

基礎底 : GL - 5.00m

高さ : GL + 15.20m

【構造】

主体構造 : 鉄筋コンクリート造

屋根 : 鉄骨造

主鋼材 : SS41 及び高張力鋼

コンクリートの種類

A種・普通コンクリート (基礎・地中梁・1階スラブ)

Fc = 210kg/cm²

B種・軽量コンクリート (梁・スラブ用・地

上部)

$$F_c = 300 \text{ kg/cm}^2$$

C種・軽量コンクリート(地上部躯体でAB以外の梁・壁など) $F_c = 240 \text{ kg/cm}^2$

〈設備〉

【電気設備】

受電方式:交流3相3線式6,000V 50Hz

電話交換方式:64回線デジタル交換機方式

【空調設備】

展示棟=CAV(定風量型)+VAV(可変風量型)方式

管理棟=VAV方式

保管庫=露点再熱制御方式

県民アトリエ棟=各室ハンドリング方式

熱 源:空気熱源スクリュー熱回収ヒートポンプ方式

【衛生設備】

給 水:ポンプ圧送方式、引込み管径75mm

排 水:汚水・雑排水合流方式系統(管径300)

雨水系統(管径300)別、公設本管へ放流

【防災設備】

排煙方式:自然排煙、機械排煙(第1、2、7展示室)

消火方式:屋外・屋内消火栓、不燃性ガス消火設備(ハロゲン1301)

自家発電:ディーゼル機関直結交流発電機、定格出力 100kVA

火災報知設備:P型1級自動火災報知設備

【その他の設備】

防犯設備:ITVカメラ設備、防犯警報装置

昇降機設備:荷物用エレベーター

規 模:容量3,000kg

カゴ内法=3,000mm×3,000mm×3,000mm

速度30m/min

展示棟

玄関ホール	102.40 m ²
クローケ	91.80 m ²
倉庫A	2.70 m ²
倉庫B	2.70 m ²
第1展示室	437.76 m ²
第2展示室	400.32 m ²
第3展示室	469.08 m ²
第4展示室	403.20 m ²
第5展示室	824.19 m ²
第6展示室	330.58 m ²
第7展示室	566.56 m ²
第8展示室	864.61 m ²
食堂	119.52 m ²
厨房	36.00 m ²
従業員控室	17.28 m ²
食堂ホール	49.20 m ²
ミュージアムショップ	12.00 m ²
ロビー	335.52 m ²
第1休憩室	23.04 m ²
第2休憩室	23.04 m ²
第3休憩室	23.04 m ²
便所A	30.24 m ²
便所B	23.76 m ²
身障者用便所	7.92 m ²
コントロール室	20.16 m ²
フィルター室	28.92 m ²
工作室	31.00 m ²
発電気室	25.00 m ²
電気室	123.20 m ²
ポンプ室	76.80 m ²
機械室	305.20 m ²
機械室(新)	283.82 m ²
高架水槽室	11.46 m ²
E.V機械室	27.28 m ²
E.V廻り	54.56 m ²
ダクトスペース	35.68 m ²
廊下等	123.48 m ²

計 ① 6,343.02 m²

管理棟	
(1階)	
第2会議室	22.62 m ²
更衣室	14.38 m ²
医務室	21.18 m ²
書庫	22.02 m ²
警備員室	43.59 m ²
第1会議室	20.15 m ²
倉庫	7.19 m ²
湯沸室	5.19 m ²
便所	24.54 m ²
宿直室	34.20 m ²
物置	9.92 m ²
用務員室	31.83 m ²
審査室・資料	
準備室・荷解室	520.68 m ²
消毒室	31.79 m ²
資料倉庫	124.25 m ²
荷解梱包室	52.67 m ²
荷扱人室	21.94 m ²
機械室	51.74 m ²
廊下等	123.97 m ²
小計	1,183.85 m ²
(2階)	
館長室	33.27 m ²
副館長室	23.42 m ²
第1応接室	14.67 m ²
第2応接室	14.55 m ²
庶務課室	112.34 m ²
会議室	43.84 m ²
学芸課・普及課室	195.32 m ²
学芸相談室	23.91 m ²
研究工作室	216.49 m ²
写真スタジオ	54.30 m ²
器材室	6.74 m ²
暗室	12.19 m ²
第1収蔵室	184.40 m ²
第2収蔵室	42.81 m ²
第3・4収蔵室	544.29 m ²
E. V前室	16.39 m ²
便所	21.50 m ²
湯沸室A	3.24 m ²
〃 B	6.87 m ²
廊下等	60.94 m ²
ダクトスペースその他	3.56 m ²
小計	1,635.04 m ²
計 ②	2,818.89 m ²

県民アトリエ棟	
1F 機械室	25.92 m ²
講堂倉庫	8.64 m ²
講堂	259.24 m ²
コントロール室	30.33 m ²
ホール側便所	29.97 m ²
情報資料室	172.77 m ²
情報資料室倉庫	4.70 m ²
事務室	22.76 m ²
研修室	74.70 m ²
研修室倉庫	4.23 m ²
第1アトリエ	155.70 m ²
第2アトリエ	184.31 m ²
第3アトリエ	95.47 m ²
アトリエ側便所	20.77 m ²
荷解室	25.65 m ²
窯場	27.17 m ²
窯場倉庫	6.66 m ²
ホールその他	352.67 m ²
計 (③)	1,501.66 m ²
合計 (①+②+③)	10,663.57 m ²

〈参考〉

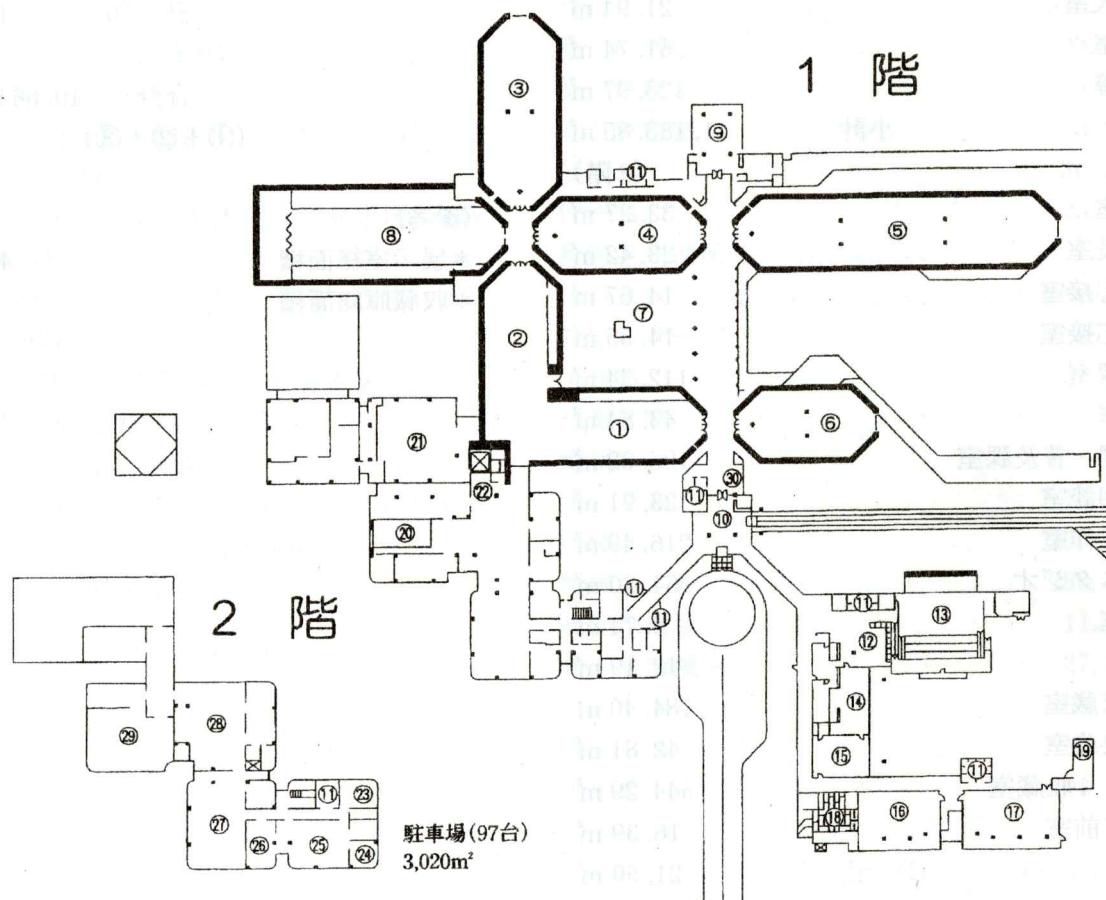
*展示室總面積

* 収藏庫總面積

内容

- ①～⑧ 展示室
- ⑨ 食堂（44席）
- ⑩ 玄関ホール
- ⑪ トイレ
- 男子用6ヶ所
- 女子用6ヶ所
- 身障者用2ヶ所
- ⑫ ホール
- ⑬ 講堂（200人）
- ⑭ 情報資料室
- ⑮ 研修室（40人）
- ⑯～⑰ 実技室
- ⑲ 窯場
- ⑳ 搬出入口
- ㉑ 機械室
- ㉒ エレベーター
- ㉓ 名誉館長室
- ㉔ 館長室
- ㉕ 庶務課
- ㉖ 会議室
- ㉗ 学芸課・普及課
- ㉘ 研究工作室
- ㉙ 収藏庫
- ㉚ ミュージアムショップ

（島の郷土と文化）



案内看板(道路標識)市内7ヵ所

平成16年度利用案内

■開館時間

開館時間 午前9時から午後4時30分

休館日 ・月曜日（ただし、月曜が祝日のときは
開館し、翌日休館）

・年末年始（12月26日～1月4日）

・展示替え等のため、必要があるとき。

入場料 常設展

一般 300円 高校・大学生 150円

小・中学生 無料。

企画展

一般 500円 高校・大学生 250円

小・中学生 無料。

団体展 無料。

■交通

★JR（京葉線）・千葉都市モノレール

「千葉みなと」駅下車、徒歩8分。

★JR「千葉」駅・京成線「京成千葉」駅下車

●徒歩23分

●バス⑫番のりばから「千葉ポートタ
ワー」行にて15分。「美術館・中央郵
便局前」下車、徒歩1分。

★<東京方面から>東関東自動車道「湾岸習志野」

I.Cから約20分。

★<成田方面から>京葉道路「穴川」I.Cから

約20分。

★<東金方面から>京葉道路「松ヶ丘」I.Cから

約20分。

内案田原実平 31 鳥平均

間脚頭開關

食(日脚)脚手(衣類)脚手(脚頭)脚開
脚手(日脚)脚頭(衣類)脚手(脚頭)脚開

(日脚)脚手(脚頭)

(日脚)脚手(脚頭)

脚頭(脚手)脚開

脚手(脚頭)脚手(脚頭)

脚手(脚頭)脚手(脚頭)

脚頭(脚手)



内案田原実平 31 鳥平均

平成 16 年度 千葉県立美術館年報 (No. 31)
発行者 平成 17 年 6 月 30 日発行
〒 260-0024 千葉県立美術館
電話 千葉市中央区中央港 1-10-1
URL 043 (242) 8311
<http://www.chiba-muse.or.jp/ART/>

Classic DFS, 3 mm for 16-30 sheets
www.bindomatic.com

548

